

## 原子力に関する不正確だと思われる情報シート

|                            |  |
|----------------------------|--|
| 新聞・雑誌名                     | 河北新聞   |
| 掲載日                        | 2009年4月8日  |
| 再処理工場、見えぬ本格操業、トラブル続発最後の難関に |  |
| タイトル                       |  |
| 最後のパラグラフ                   |  |
| 不正確だ<br>と思われる情報            | ■■■■■は「—————<br>非常に粗末な状態で、もう事業 자체をやめたほうがいい」と指摘する。<br>■■■■■は「—————  |
| コメント                       | 確かに再処理工場は様々な問題を抱えてその対応に追われている。そのことを本文では報じている。我が国の再処理は世界で初めての方式で実施しているものであり、このような新技術の開発にはトラブルはつきものであり、これを乗り越えてはじめて画期的新技術の開発がなされる。現状はその生みの苦しみの段階である。それを頭から否定するような反対派の意見を最後に掲載するのはどうか。一般読者は最後の文言に左右される。むしろ新技術開発にはある程度のトラブルはつきものぐらいの理解を求める記事が望ましい。 |
| 六ヶ所再処理工場の歴史                | <a href="http://www.rist.or.jp/atomica/data/detail.php?Title_No=04-07-03-07">http://www.rist.or.jp/atomica/data/detail.php?Title_No=04-07-03-07</a>  |
| 参考資料                       |  |

## 原子力に関する不正確だと思われる情報シート

|             |  |
|-------------|--|
| 新聞・雑誌名      | 新潟日報   |
| 掲載日         | 2010年 4月 12日   |
| タイトル        | 安全性議論継続を、反原発3団体、3者会談受け会見   |
| 不正確だと思われる情報 | <p>最初のパラグラフ<br/>――――反原発地元3団体は―――安全性について未解明の問題が多く残されているとして、徹底した議論を続けるよう訴えた。</p>   |
| コメント        | <p>反原発団体は「徹底した議論を」求めているが、議論の末に了解するという気持ちではない。引き延ばして反対を続けるための言いがかりにすぎない。このような非建設的な意見の記事を5段抜きで掲載するのは問題である。このような議論も掲載する必要がある場合は、それに対する専門家の見解も同時に掲載すべきだ。</p> |
| 参考資料        |  |

## 原子力に関する不正確だと思われる情報シート

|        |                      |
|--------|----------------------|
| 新聞・雑誌名 | デーリー東北               |
| 掲載日    | 2010年 4月 12日         |
| タイトル   | 原燃保安規定違反、見逃せない危機感の欠如 |
| コメント   | 不正確だと思われる情報          |
| 参考資料   |                      |

## 原子力に関する不正確だと思われる情報シート

|                 |   |
|-----------------|---|
| 新聞・雑誌名          | 柏崎日報  |
| 掲載日             | 2010年 4月 13日  |
| 問題              | は未解明、運転再開反対、地元原発3団体   |
| タイトル            | <p>最後のパラグラフ<br/>モータークーシング———<br/>が「非常に重要な機器な<br/>のに耐震余裕が少しあなく、補強もしていない。地震の後遺症を負つ<br/>ていないといふ確たる証拠もない」と説明し、この問題を議論しようと<br/>しない国の姿勢を批判した。</p>   |
| 不正確だと思わ<br>れる情報 | <p>耐震評価問題はかなり高度な技術知識と判断が求められる。このため専<br/>門家による精力的な検討がなされ、柏崎についてもその評価を反映して<br/>耐震補強等もなされている。素人が口出しえきる問題ではない。<br/>●は●の技術者で、その肩書を利用してさも技術者の意見で<br/>あるかのように装っているが、現在の耐震技術などには素人であり技術<br/>をうんぬんする資格はない。このような柏崎原発の閉鎖を訴える反対派<br/>の意見をいちいち掲載するのは問題である。</p> |
| コメント            | <p>【柏崎刈羽原発の閉鎖を訴える●学者・技術者の会】<br/><a href="http://kkheisa.blog117.fc2.com/blog-entry-4.html">http://kkheisa.blog117.fc2.com/blog-entry-4.html</a></p>   |
| 参考資料            |   |

## 原子力に関する不正確だと思われる情報シート

|             |   |
|-------------|---|
| 新聞・雑誌名      | 読売新聞  |
| 掲載日         | 2010年 4月 14日  |
| タイトル        | 志賀原発2号機で300倍の放射性ガス  |
| 不正確だと思われる情報 | <p>-----原子炉から通常の約300倍の濃度の放射性ガスが出たと-----</p>   |
| コメント        | <p>放射性ガスが通常の300倍という表現では、一般の方には大変な量が放出されたとのイメージになってしまいます。本来通常の放出量は自然放射線の1／2000ぐらいであり、300倍でも自然放射線量よりも低い。このような解説も含めて報道しないと正しい理解に結びつかない。</p>                                      |
| 参考資料        | <p>浜岡原発からの放出量を下記に示す。他の発電所も同程度である。<br/><a href="http://www.chuden.co.jp/torikumi/atom/more/housha_out.html">http://www.chuden.co.jp/torikumi/atom/more/housha_out.html</a></p> |

## 原子力に関する不正確だと思われる情報シート

|             |  |
|-------------|--|
| 新聞・雑誌名      | 読売新聞   |
| 掲載日         | 2010年 4月 14日   |
| タイトル        | 原発運転再開は流動的、柏崎火災夏の電力供給に影響も  |
| 不正確だと思われる情報 | <p>最後のパラグラフ<br/>――――――原発部品の検査記録が改ざんされていたこともあきらかになり、原発に対する不信感や不安が広がりかねない状況だ。</p>  |
| コメント        | <p>この記事はタイトルにあるように、柏崎原発の火災問題を報じているのに、最後にこれとは全く無関係の他の発電所での検査記録の改ざん問題を取り上げ、「原発に対する不信感や不安が広がりかねない状況」と断定してことさらに一般読者の不安をあおっている。</p> |
| 参考資料        |  |

## 原子力に関する不正確だと思われる情報シート

|             |  |
|-------------|--|
| 新聞・雑誌名      | 佐賀新聞   |
| 掲載日         | 2010年 4月 14日   |
| タイトル        | 原発反対訴え徒歩の旅   |
| 不正確だと思われる情報 | <p>第3、4パラグラフ<br/>「原発って何？放射能って何？日本人って何？」書いた布を身にまと<br/>い、11日に長崎の平和公園を出発。————中間貯蔵施設建設を懸<br/>念し、「このままでは放射性廃棄物の集積地になる。地元に過大な負担<br/>を強いる計画は一人一人の力で止めるべき」と訴えた。</p> <p>このような目立ちたがりの行動をなぜ大新聞が写真入り、3段抜きで報<br/>道するのか。このような報道は勝手な反対派を勇気付けるだけであり、<br/>社会の大多数のための政策の推進を阻害するものであり、慎むべきであ<br/>る。</p> |
| コメント        | 参考資料   |

## 原子力に関する不正確だと思われる情報シート

|             |  |
|-------------|--|
| 新聞・雑誌名      | 朝日新聞   |
| 掲載日         | 2010年 4月 15日   |
| タイトル        | 上関原発、豊かな海埋めるな  |
| 不正確だと思われる情報 | <p>最後のパラグラフ<br/>埋め立てられるのは藻場、海の命のゆりかごなのだ。この計画で失うものは計り知れない。</p>  |
| コメント        | <p>これは読者の投稿文だ。全体に偏った見方の意見となつておる、問題であるが、特に最後のパラグラフでの記述は、「海の命ゆりかご」という表現で、一般読者の共感を呼び表現となつてゐる。實際には周辺の海の藻場は広い範囲に及んでおり、埋め立てられるのはごく一部であり、問題となる影響はないと判断される。このような一方的な見方の意見を掲載するのは問題である。</p> |
| 参考資料        | <p>上関原発環境影響評価<br/><a href="http://www.energia.co.jp/atom/press/atomf-2-12.html">http://www.energia.co.jp/atom/press/atomf-2-12.html</a></p>  |

## 原子力に関する不正確だと思われる情報シート

|             |   |
|-------------|---|
| 新聞・雑誌名      | 東奥日報  |
| 掲載日         | 2010年 4月 16日  |
| タイトル        | 核のごみ廃棄場誘致はやめて   |
| 不正確だと思われる情報 | <p>最後のパラグラフ<br/>「低レベル」とは言っても“核のごみ”はそれ以上の大きなイメージダメージです。すぐにやめてほしいものだと思います。</p>  |
| コメント        | <p>読者の投稿である。<br/>このような発言はNIMBY思想であり、この考えを放置したら現代社会は構築できない。メリットを受けたためにはそれ相応の負担を分かち合わなければならぬ。このようなわがままな見方を尊重して記事にするのは問題である。</p> |
| 参考資料        |   |

## 原子力に関する不正確だと思われる情報シート

|             |  |
|-------------|--|
| 新聞・雑誌名      | 新潟日報   |
| 掲載日         | 2010年 4月 17日   |
| タイトル        | 原発再開論議原点に立ち返れ  |
| 不正確だと思われる情報 | <p>何度も繰り返せば反省するのだろうか。東京電力柏崎刈羽原子力発電所の火災事故は中越沖地震以来九年目という。———国、県、地方自治体と東電は運転再開について原点に立ち返って議論し直さない限り、県民は許さないと思う。</p>   |
| コメント        | <p>小さなボヤ程度の火災が多発したことは事実である。この原因の一つは耐震強化対策の工事が輻輳していたといった事実もあるが、問題はいざれもささいな取るに足らぬものであり、原子力の安全が阻害されるようなものでは全くない。それなのにあたかも原子力の安全性が阻害されたように、国、県、地方自治体が騒ぎたてているほうが問題である。この騒ぎで不必要に運転再開が遅れ基大な経済的損失が生じている。これは結局は電気料金として消費者に跳ね返ってくることを考えるべきである。これに輪をかけて読者の声として今回の記事を掲載するのは問題である。</p> <p>もつと良識ある読者の声を取り上げるべきである。</p> |
|             | 参考資料   |

## 原子力に関する不正確だと思われる情報シート

|         |  |  |
|---------|--|--|
| 新聞・雑誌名  | 日本経済新聞   |  |
| 掲載日     | 2009年4月20日   |  |
| タイトル    | 「屋根全部に太陽電池設置すると・・・家庭電力4割貯える」<br>「東京23区、東工大試算」  |  |
| 不確とわる情報 | 「東京23区の戸建て住宅の屋根すべてに太陽電池を設置すれば、すくなく見積もっても同地域の家庭電力消費の約40%を貯えるー。」   |  |
| コメント    | 仮定の計算ではあるが、全ての戸建て住宅に設置することの実現性は、設置にかかる費用（1戸3kW、70万円/kWとして210万円、23区全戸建家屋設置で約5兆円）負担、住居者の同意を考えるとゼロと言える。全く非現実的、非経済的な試算をその実現性に言及することなく、ニュースとして掲載するのは読者に誤解を与える。  |  |
| 参考資料    | 「太陽光発電のコスト」<br><a href="http://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%A4%AA%E9%99%BD%E5%85%89%E7%99%BA%E9%9B%BB%E3%81%AE%E3%82%B3%E3%82%BF9%E3%83%88">http://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%A4%AA%E9%99%BD%E5%85%89%E7%99%BA%E9%9B%BB%E3%81%AE%E3%82%B3%E3%82%BF9%E3%83%88</a> |  |

## 原子力に関する不正確だと思われる情報シート

|             |   |
|-------------|---|
| 新聞・雑誌名      | 愛媛新聞  |
| 掲載日         | 2009年4月20日  |
| タイトル        | 「チエルノブイリ事故23年、プルサーマル中止を」「松山 市民団体街頭で訴え」  |
| 不正確だと思われる情報 | 「街宣に参加した10人は「愛媛でチエルノブイリ事故をくり返してはならない」と呼びかけ、チラシ約500枚を配った。」「プルサーマル計画で国からのお金と引き換えに命とふるさとを売つてはならない」と話しおと、「脱原発」活動を強めていく考えを示した。」                              |
| コメント        | 反対派の記事のみを、何らコメントすることなくそのまま掲載しているのは著しくバランスを欠く。四国電力や国のプルサーマル計画も掲載する必要がある。   |
| 参考資料        | 四国電力ホームページ「プルサーマル」<br><a href="http://www.yonden.co.jp/energy/atom/pulthermal/index.html">http://www.yonden.co.jp/energy/atom/pulthermal/index.html</a> |

## 原子力に関する不正確だと思われる情報シート

|             |   |
|-------------|---|
| 新聞・雑誌名      | 日本経済新聞  |
| 掲載日         | 2009年4月20日  |
| タイトル        | 「北陸電力の志賀原発1号機再稼働」「地元も「協力」、スピード決着、問われる緊張感」   |
| 不正確だと思われる情報 | <p>「地元と北陸電の利益関係が絡み合う中で、両者の間に見て取れる「なれ合い」の空気が原発を監視する目を緩めではないだろうか。……今後の原発運営では北陸電はもちろん、地元自治体にも「緊張感」が求められる。」</p>   |
| コメント        | <p>「なれ合い」という言葉は地元と北陸電の間で何か不正なことが行われているような言い方を思われる。本来、地元と電力会社の間に締結されている原子力安全協定は法的拘束力はなく紳士協定であり、電力会社はそれを尊重して地元に安全性を説明、協議し了解されて再稼働するものであり、もし安全性に問題のあるまま再稼働すれば地元にもマイナスであるから、些かも「なれ合い」的なことは無いと言える。</p> |
| 参考資料        | <p>北陸電力プレスリース「平成21年3月27日、志賀原子力発電所1号機 再起動の了承受領について」<br/><a href="http://www.rikuden.co.jp/press/attach/09032701.pdf">http://www.rikuden.co.jp/press/attach/09032701.pdf</a></p>                    |

## 原子力に関する不正確だと思われる情報シート

|             |   |
|-------------|---|
| 新聞・雑誌名      | 東京新聞  |
| 掲載日         | 2010年 4月 21日  |
| タイトル        | プルサーマル発電、安全性に懸念の声もある  |
| 不正確だと思われる情報 | <p>第2パラグラフの後半<br/>――――――日本にとつては電力を自給する手段が一つ加わる利点<br/>もあるが。反面、コストが高く、安全性に懸念があると指摘する声もある。</p>   |
| コメント        | <p>この記事では、プルサーマルについて概観しているが、大きい見出しへ「安全性に懸念の声も」と書いているのは、一般読者の印象を安全性に懸念という方向に持っていく意図が感じられる。安全性の何が問題かについての記述もまったくない。こんな無責任な記事は慎むべきである。</p>   |
| 参考資料        | <p>軽水炉におけるM〇X燃料利用（プルサーマル）の安全性<br/><a href="http://etelmtsv.pref.ehime.jp/info/HOUDOU/h18/0180724/kudo.pdf">http://etelmtsv.pref.ehime.jp/info/HOUDOU/h18/0180724/kudo.pdf</a></p> |

## 原子力に関する不正確だと思われる情報シート

|             |  |
|-------------|--|
| 新聞・雑誌名      | 愛媛新聞   |
| 掲載日         | 2009年4月22日   |
| タイトル        | 「伊方2号機定検作業員が倒れる、構内から救急搬送」  |
| 不正確だと思われる情報 | 「・・・作業員男性（40）が倒れ、大洲市内の病院に救急搬送されたと公表した。」  |
| コメント        | この作業員はその後どうなったのか、この後のフォロー記事が無い。読者は、原発の構内で作業員が倒れた、ということだけが頭に残り、原発では危険な作業をしているという印象だけが残るのは問題である。 |
| 参考資料        |  |

## 原子力に関する不正確だと思われる情報シート

|             |  |
|-------------|--|
| 新聞・雑誌名      | 朝日新聞   |
| 掲載日         | 2009年4月22日   |
| タイトル        | 「核燃サイクルに影」「米、再処理工場断念」「技術・巨費が壁に、「不拡散実現にも疑念」「日本も同じ問題、試運転トラブル続き」  |
| 不正確だと思われる情報 | 「米国が、使用済み核燃料の再処理施設と高速炉の建設を断念した。・・・実現する見込みがつかないまま、巨額の経費を投じることに疑問や反発が強かつたためだ。・・・日本でも、経費や技術的な課題は山積している。」  |
| コメント        | 米国の核燃料リサイクルは共和党ブッシュ政権時代の政策であり、民主党に政権交代した結果、核不拡散に重きを置く民主党の政策として核燃料リサイクル路線を止めたものであり、決して「実現する見込みがない」ことが理由ではない。また、日本の核燃サイクル政策は米国がカーターやクリントンの民主党政権の時代から米国の了解のもとに推進してきたものであり、米国の政策が今回変わったからと言つて影響を受けるものではない。 |
| 参考資料        | ATOMICA「アメリカの核燃料サイクル」<br><a href="http://www.rist.or.jp/atomica/data/detail.php?Title_No=14-04-01-05">http://www.rist.or.jp/atomica/data/detail.php?Title_No=14-04-01-05</a>                           |

## 原子力に関する不正確だと思われる情報シート

|             |  |
|-------------|--|
| 新聞・雑誌名      | 静岡新聞   |
| 掲載日         | 2009年4月22日   |
| タイトル        | 「浜岡原発の選択、本誌連載に読者の声」「住民の不安払拭を」「リプレース慎重に、新エネルギー開発急務」   |
| 不正確だと思われる情報 | 8人の読者からの投書を掲載しているが、その見出しあは「町の発展願い我慢」「もう身売りやめて」「電気の大切さ再考」「なぜまた浜岡か」「電気使用量制限を」「国家貢献のため」「互いにリスク持つ」「安全審査に不信感」である。   |
| コメント        | リプレースに同意意見が2名、反対意見が5名、中立的意見が1名とややバランスを欠く選択であったと思います。ただし中電広報G専門部長の「現状では最良の選択」というインタビュー記事も掲載しているのは評価できる。   |
| 参考資料        | 中部電力ホームページ「浜岡原子力発電所リプレース計画」<br><a href="http://www.chuden.co.jp/torikumi/atom/replace/index.html">http://www.chuden.co.jp/torikumi/atom/replace/index.html</a> |

## 原子力に関する不正確だと思われる情報シート

|             |  |
|-------------|--|
| 新聞・雑誌名      | 山口新聞   |
| 掲載日         | 2009年4月23日   |
| タイトル        | 「上関原発計画 撤回を」「地元住民、市民団体、県庁前で280人集会」   |
| 不正確だと思われる情報 | 「上関原発計画は中電が多くの問題を抱えながらも、強引に進め、今月8日には準備工事に着手した。・・・」   |
| コメント        | 反対派集会の様子だけでなく、反対派の主張をそのまま掲載し、あたかも山口新聞が上関原発の建設に反対しているかの印象がある。   |
| 参考資料        | 中国電力や国の話も掲載する必要がある。<br><a href="http://www.energia.co.jp/atom/kami_menu.html">http://www.energia.co.jp/atom/kami_menu.html</a> |

## 原子力に関する不正確だと思われる情報シート

|             |   |
|-------------|---|
| 新聞・雑誌名      | 新潟日報  |
| 掲載日         | 2009年 4月24日   |
| タイトル        | 原発に即断避けた答弁は当然   |
| 不正確だと思われる情報 | <p>高レベル放射性廃棄物も数万年の管理が必要とされる。疲れゆく廃棄物をその長い期間、管理する場所は世界のどこにもまだ決まっていない。</p>   |
| コメント        | <ol style="list-style-type: none"><li>数万年の管理が必要：人間の生活環境に影響を及ぼさないよう隔離するため、手段の管理は必要ない。</li><li>世界のどこにもまだ決まっていない：フィンランドとスウェーデンではすでに決まっている。</li></ol>   |
| 参考資料        | <ol style="list-style-type: none"><li>NUMOのホームページより<br/><a href="http://www.numo.or.jp/q_and_a/03/01.html">http://www.numo.or.jp/q_and_a/03/01.html</a></li><li>電事連ホームページより<br/><a href="http://www.fepc.or.jp/present/haikibutsu/high_level/torikumi/index.html">http://www.fepc.or.jp/present/haikibutsu/high_level/torikumi/index.html</a></li></ol> |

## 原子力に関する不正確だと思われる情報シート

|             |  |
|-------------|--|
| 新聞・雑誌名      | 新潟日報   |
| 掲載日         | 2009年 4月24日  |
| タイトル        | 「中越沖の警告無視か」<br>柏崎原発設置訴訟上告破棄<br>原告ら不信感あらわ<br>(このほか同紙の一連の記事、25日付の日報抄も含め) |
| 不正確だと思われる情報 | 判決に対する批判意見のみで、行政当事者のコメントを除くと、判決が妥当との評論がない。                             |
| コメント        | 評価する意見もあるはずである。一方の意見のみを記載するのはバランスを欠いている。                               |
| 参考資料        |  |

## 原子力に関する不正確だと思われる情報シート

|             |   |
|-------------|---|
| 新聞・雑誌名      | 福井新聞  |
| 掲載日         | 2009年 4月24日   |
| タイトル        | 原子力機構3部署 「もんじゅ」が最低  |
| 不正確だと思われる情報 | 報告書によると、「もんじゅ」「ふげん」「敦賀本部事務所」の各職員に(途中略)評定を聞いた。この結果、もんじゅの評定が三部署で最も低いとしている。                                  |
| コメント        | 一読してもんじゅは不合格といった印象を受けやすい表現である。評定の差がある程度以上で不合格レベルであれば、このような表現は妥当であろう。差が少なかつたり許容範囲にあるものであれば、こういった表現は好ましくない。 |
| 参考資料        |   |

## 原子力に関する不正確だと思われる情報シート

|             |  |
|-------------|--|
| 新聞・雑誌名      | 中国新聞   |
| 掲載日         | 2009年4月24日   |
| タイトル        | 「上関原発中止へ、全国で署名開始、原水禁など5団体」   |
| 不正確だと思われる情報 | <p>「趣意書では、・・・原発の安全性や信頼性が搖らいでいると指摘。大惨事を起こす可能性がある原発建設は二酸化炭素削減などに有効だとしても中止するべきだとする。」</p>  |
| コメント        | <p>反対派の記事のみを、何らコメントすることなくそのまま掲載しているのは著しくバランスを欠く。中国電力や国の話も掲載する必要がある。</p>  |
| 参考資料        | <p>中国電力のホームページ<br/><a href="http://www.energia.co.jp/atom/kami_menu.html">http://www.energia.co.jp/atom/kami_menu.html</a></p> |

## 原子力に関する不正確だと思われる情報シート

|             |  |
|-------------|--|
| 新聞・雑誌名      | 東京新聞   |
| 掲載日         | 2009年4月27日   |
| タイトル        | 「 Chernobyl 23 年で追悼行事、ウクライナなど」   |
| 不正確だと思われる情報 | 「・・・原子炉が爆発し、大量の放射性降下物が歐州全域を汚染、世界各国の拡散した。」  |
| コメント        | 「原子炉が爆発」した、という表現は「核爆発＝原爆」を連想させ、間違い。正しくは「水蒸気爆発」と「水素爆発」である。  |
| 参考資料        | ウイキペディア「チエルノブリ原子力発電所事故」<br><a href="http://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%81%E3%82%A7%E3%83%AB%E3%83%8E%E3%83%96%E3%82%A4%E3%83%AA%E5%8A%9F%E9%9B%BB%E7%99%BA%E9%9B%BB%E6%89%80%E4%BA%BB%E6%95%85">http://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%81%E3%82%A7%E3%83%AB%E3%83%8E%E3%83%96%E3%82%A4%E3%83%AA%E5%8A%9F%E9%9B%BB%E7%99%BA%E9%9B%BB%E6%89%80%E4%BA%BB%E6%95%85</a> |

## 原子力に関する不正確だと思われる情報シート

|        |  |
|--------|--|
| 新聞・雑誌名 | デーリー東北   |
| 掲載日    | 2009年 4月 30日   |
| タイトル   | <p>青森県内の反核燃団体は（途中省略）毎年恒例の「4・9反核燃の日」を開催。約1300人が参加し、トラブルが相次ぐ再処理工場の稼動阻止を訴えた。</p> <p>（写真）</p> <p>再処理工場の稼動阻止に向けてアピールする「4・9反核燃の日」全国集会の参加者</p> <p>六ヶ所再処理工場ではいろいろなトラブルでその対策が求められる状況を報じている記事である。その中に本記事により三週間も前に行われた「反核燃の日」集会の記事と写真を掲載しているのは問題である。これは明らかに反核燃に与する記者の姿勢が見て取れる。</p> <p>再処理工場の問題を取り上げるのであれば、日本原燃の対応策の検討内容などのほうが、はるかに一般読者の求めるものであろう。</p> |
| コメント   | <p>「4・9反核燃の日」全国集会</p> <p><a href="http://www.gensuikin.org/mt/000193.html">http://www.gensuikin.org/mt/000193.html</a></p> <p>日本原燃社長定例記者懇談会概要、2009/4/25</p> <p><a href="http://www.jnfl.co.jp/jnfl/president-talk200804.html">http://www.jnfl.co.jp/jnfl/president-talk200804.html</a></p>   |

## 原子力に関する不正確だと思われる情報シート

|             |   |
|-------------|---|
| 新聞・雑誌名      | 西日本新聞   |
| 掲載日         | 2009年 5月 3日   |
| タイトル        | 動き出すプルサーマル、難しい再処理、管理法   |
| 不正確だと思われる情報 | 九電は「制御棒の機能は十分に余裕がある」と安全性を強調していますが、実際に運転してみないと分からに面もあり、不安は残ります。  |
| コメント        | タイトルに「難しい再処理」として問題を強調する論調にしている。文中にも上記に指摘したように、「実際に運転しないとわからぬ面もあり、不安は残ります」など不安を煽る表現になつていて。このあたりに記者の先入観による記事の誘導があり、問題である。九電の十分に余裕があり安全だという説明を掲載するほうが筋ではないか。                   |
| 参考資料        | 九電玄海3号基プルサーマル計画の安全性について、2008/2/7<br><a href="http://www.saga-genshiryoku.jp/plu/pdf/060207torimatomne.pdf">http://www.saga-genshiryoku.jp/plu/pdf/060207torimatomne.pdf</a> |

## 原子力に関する不正確だと思われる情報シート

|             |  |
|-------------|--|
| 新聞・雑誌名      | 東京新聞   |
| 掲載日         | 2009年5月4日  |
| タイトル        | 負の遺産を残さないで<br>(東京都中野区の中学生の投稿)  |
| 不正確だと思われる情報 | <p>「放射性廃棄物は安全に処理できる」との主張があるが、本当だろ<br/>うか？（途中省略）</p> <p>しかし、放射能の半減期が2万4千年もあるため、半永久的に放射線を<br/>出し続ける。</p> <p>その2万年も先の安全性を保障できるのであろうか、できないだろ<br/>う。</p>  |
| コメント        | <ol style="list-style-type: none"><li>1. 高レベル放射性廃棄物のことを言っているのであろう。全ての核分<br/>裂性物質などの半減期が2万4千年というわけではない。ウラン鉱<br/>石と同程度に減衰するということならおおむね2万年。</li><li>2. 通常の保障という概念ではないが、長期間隔離できることを、古代<br/>のガラスや地質活動から証明できる。</li></ol> |
| 参考資料        | <p>原子力・エネルギー図面集 2009、8-19<br/>NUMOホームページなど<br/><a href="http://www.numo.or.jp/q_and_a/04/01.html">http://www.numo.or.jp/q_and_a/04/01.html</a></p>   |

原子力に関する不正確だと思われる情報シート

|             |   |
|-------------|---|
| 新聞・雑誌名      | 読売新聞  |
| 掲載日         | 2009年 5月 8日   |
| タイトル        | 夏の電力確保に前進 柏崎原発再開へ   |
| 不正確だと思われる情報 | (前段の記事)<br>7号機と同型の6号機はすでに耐震工事を終えており、早ければ夏にも再開に向けて動き出しそうだ。(以下省略)<br>(後段の記事)<br>ただ、同原発1～6号機の運転再開のメドはたっていない。                               |
| コメント        | 前段の記事が正しい。<br>同一記事の中で異なった記載があるが、同紙の前日の記事のほか、5月10日の「残る6基については再開のメドが立っていない」と記載した毎日新聞も同様。新聞社間で相違、同一新聞の記事内でも混乱。<br>(5月7日の東京、5月10日の日経は正しく記載) |
| 参考資料        |   |

## 原子力に関する不正確だと思われる情報シート

|                     |  |
|---------------------|--|
| 新聞・雑誌名              | 北海道新聞  |
| 掲載日                 | 2009年5月9日(土)   |
| タイトル                | 柏崎刈羽原発、信頼を得られた再開か  |
| 不正確だ<br>と思われる<br>情報 | 第7パラグラフ<br>住民は不安にさらされ、原発の耐震性への信頼は大きく失われた。  |
| コメント                | 全体的に住民の不安という点を必要以上に強調しており問題である。<br>「原発の耐震性への信頼は大きく失われた」というのは偏った見方である。<br>IAEAはこれだけの想定外の巨大地震に対して、わが国の原子力発電所の耐震設計は余裕を十分に取っており、安全機能を十分に果たした点を高く評価する見解を発表している。                       |
| 参考資料                | 平成20年2月1日に終了したIAEA調査団の報告書<br><a href="http://www.meti.go.jp/committee/materials/downloads/g80220a12j.pdf">http://www.meti.go.jp/committee/materials/downloads/g80220a12j.pdf</a> |

## 原子力に関する不正確だと思われる情報シート

|             |   |
|-------------|---|
| 新聞・雑誌名      | 新潟日報  |
| 掲載日         | 2009年5月9日(土)  |
| タイトル        | 7号機再開、「慎重」「着実」繰り返す、東電社長、住民不安に配慮   |
| 不正確だと思われる情報 | <p>最後のパラグラフ<br/>「安心得られない」NPOが抗議声明、<br/>――活断層評価の議論が途上であることや設備機器類の点検、評価が<br/>不十分であることなどを挙げ、「地元の人たちや県民の安心を得ること<br/>はできない」とした。</p>  |
| コメント        | <p>ここに述べられている見解はNPO法人「原子力資料情報室」の一方的な<br/>見解であり、これを記事の最後に掲載するのは読者をミスリードするも<br/>のであり問題である。耐震性評価や設備機器の点検、評価は東京電力が<br/>十分に行い、原子力安全保安院、原子力安全委員会で審査評価し、県の<br/>評価委員会にても審議されており、その結果妥当として再開が認められ<br/>ている。</p> |
| 参考資料        | <p>柏崎刈羽原子力発電所7号機再開に当たっての新潟県議会議員協議会<br/>における、知事の説明<br/><a href="http://www.pref.niigata.lg.jp/genshiryoku/1241640098490.html">http://www.pref.niigata.lg.jp/genshiryoku/1241640098490.html</a></p>     |

## 原子力に関する不正確だと思われる情報シート

|             |   |
|-------------|---|
| 新聞・雑誌名      | 佐賀新聞  |
| 掲載日         | 2009年5月11日(月)   |
| 不正確だと思われる情報 | プルサーマル「学ばねば」、反対集会、市民、思い思に<br>タル   |
| コメント        | 第4パラグラフ<br>——「プルサーマルは灯油ストーブにガソリンを入れるくらい危険なことだと聞いた。中学1年の娘のことを考えると、将来に禍根を残す計画は人ごどじやない」——  |
| 参考資料        | プルサーマルに反対するグループが人集めのためにお祭り騒ぎをやっているイベントを紹介する記事である。このグループは上記のようなくてつもないたとえで、一般の方たちを恐怖に落とし込んでいる。このような詐欺まがいのうそを言うグループを写真入りの4段抜き記事にするのは大問題である。このようなグループを元気つける佐賀新聞の報道姿勢を問う。イベント企画：No!プルサーマル佐賀ん会<br>「No!プルサーマル佐賀ん会」のホームページ<br><a href="http://love.ap.teacup.com/nomox/">http://love.ap.teacup.com/nomox/</a> |

## 原子力に関する不正確だと思われる情報シート

|             |   |
|-------------|---|
| 新聞・雑誌名      | 日本経済新聞  |
| 掲載日         | 2009年5月18日(月)   |
| タイトル        | プルサーマル発電、計画、大幅に遅れ   |
| 不正確だと思われる情報 | 最後のパラグラフ<br>だが、これまで実施例はない   |
| コメント        | プルサーマルは実施例がないといいうのは誤りである。わが国の軽水炉では敦賀1号(BWR)で2体、美浜1号(PWR)で4体の安全な使用実績がある。また新型転換炉ふげんでは772体の使用実績がある。海外の軽水炉では多数の実施例がある。  |
| 参考資料        | プルサーマルの実施例、電事連資料<br><a href="http://www.fepc.or.jp/present/cycle/pluthermal/jisseki/index.html">http://www.fepc.or.jp/present/cycle/pluthermal/jisseki/index.html</a><br>プルサーマルの実施例、資源エネルギー庁の資料、3-3, 3-4<br><a href="http://www.enecho.meti.go.jp/genchi-az/pamphlet/pdf/wakaru_pl.pdf">http://www.enecho.meti.go.jp/genchi-az/pamphlet/pdf/wakaru_pl.pdf</a> |

## 原子力に関する不正確だと思われる情報シート

|        |   |
|--------|---|
| 新聞・雑誌名 | 朝日新聞  |
| 掲載日    | 2009年5月19日(土)   |
| タイトル   | MOX燃料到着で要望<br>不正確だと思われる情報   |
| コメント   | 最後のパラグラフ<br>――「地元は核のゴミ捨て場になってしまうのではないかと不安がある。しばらくブルサーマルを延期してほしい」と話した。   |
| 参考資料   | 全国420の団体で作る「使用済みMOX燃料を憂慮する全国の市民」の要望書をまとめた発起人の言を紹介している。このようないか一方には偏った見解の団体の要望書を掲載するのは読者をミスリードすることにつながり、問題である。<br><br>「使用済み MOX燃料を憂慮する全国の市民」の質問書<br><a href="http://www.greenvaction-japan.org/modules/wordpress/index.php?p=402">http://www.greenvaction-japan.org/modules/wordpress/index.php?p=402</a> |

## 原子力に関する不正確だと思われる情報シート

|                 |  |
|-----------------|--|
| 新聞・雑誌名          | 佐賀新聞   |
| 掲載日             | 2009年5月19日(火)  |
| タイトル            | 九電が運営本部設置<br>市民団体 抗議行動へ  |
| 不正確だと思<br>われる情報 | 「安全性の問題や使用済みM〇X燃料の処分問題が解決できていない」   |
| コメント            | 安全性：ウラン燃料と大差ない。実績も十分ある。<br>M〇Xの処分：再処理する方針は決まっている。再処理工場等に搬出する<br>までは発電所で保管。   |
| 参考資料            | わかるプルサーマル ウラン資源を有効活用するしくみ<br><a href="http://www.enecho.meti.go.jp/genshi-az/pamphlet/pdf/wakaru.pdf">http://www.enecho.meti.go.jp/genshi-az/pamphlet/pdf/wakaru.pdf</a> |

## 原子力に関する不正確だと思われる情報シート

|             |   |
|-------------|---|
| 新聞・雑誌名      | 北海道新聞   |
| 掲載日         | 2009年5月19日(火)   |
| タイトル        | プルサーマルの現場をあるく<br>大間原発と函館市民<br>高まる不安に応えぬ国  |
| 不正確だと思われる情報 | 事故があれば函館にも影響が及ぶのは明らか  |
| コメント        | プルサーマルも「止める」「冷やす」「閉じ込める」の機能が保持されし、固有の安全性が確保されているので、これまでの軽水炉と基本的に同じ。<br>「防災対策を重点的に充実すべき地域の範囲」(EPR)が決められるので、これに従って判断すればよい。函館はその範囲でないとの国の回答も掲載されているが、不安を払しょくできる記事になっていない。(丁寧な説明が必要)<br>EPR：気象や地形等を考慮し、技術的に余裕をもってきめた影響の及ぶ範囲 |
| 参考資料        | 原子力施設等の防災対策について(原子力安全委員会)<br><a href="http://www.nsc.go.jp/anzen/sonota/houkoku/bousai200307.pdf">http://www.nsc.go.jp/anzen/sonota/houkoku/bousai200307.pdf</a>  |

## 原子力に関する不正確だと思われる情報シート

|             |  |
|-------------|--|
| 新聞・雑誌名      | 北海道新聞  |
| 掲載日         | 2009年5月20日(水)  |
| タイトル        | プルサーマルの現場を歩く<br>青森・核燃料再処理工場<br>放射性物質 海空に放出   |
| 不正確だと思われる情報 | 放射性物質は拡散するだけで、消えるわけではない。海底土や海藻、魚に蓄積して濃縮する。影響が見えるのは20年、30年先だ。   |
| コメント        | 消えるわけではない→放射性物質は減衰する。どこかに濃縮して永久に残るかのごとき表現は間違え。(長いものもあるが)<br>半減期の例: Cs137: 30年、Sr90: 28.8年、Co60: 5.3年、U239の2.4億年のようなものもあるが、短いものも多い)   |
| 参考資料        | 放射能の減り方(原子力・エネルギー図面集)<br><a href="http://www.fepc.or.jp/library/publication/pamphlet/nuclear/zumenshu/pdf/all06.pdf">http://www.fepc.or.jp/library/publication/pamphlet/nuclear/zumenshu/pdf/all06.pdf</a> |

## 原子力に関する不正確だと思われる情報シート

|             |  |
|-------------|--|
| 新聞・雑誌名      | 佐賀新聞   |
| 掲載日         | 2009年5月23日(土)  |
| タイトル        | 論説<br>プルサーマル計画<br>理解得る責務 国にある  |
| 不正確だと思われる情報 | フランスからの燃料輸送では輸送時期、ルート、警備状況など、ほとんど事前には知らされなかつた。核物質防護のためとはいえ・・・(以下省略)<br>情報  |
| コメント        | 国際的にも放射性物質安全輸送規則(IEAE)が定められている。<br>テロ対策として重要。<br>この記事はこの制度に反対なのか? そうでなければまさに国民の不安を煽るだけである。   |
| 参考資料        | 原子力の安全 輸送に関する安全規則<br><a href="http://www.nisa.meti.go.jp/7_nuclear/10_yusou/yusou_1.htm">http://www.nisa.meti.go.jp/7_nuclear/10_yusou/yusou_1.htm</a> |

## 原子力に関する不正確だと思われる情報シート

|        |  |
|--------|--|
| 新聞・雑誌名 | デーリー東北   |
| 掲載日    | 2009年5月25日(月)  |
| タイトル   | 時評<br>プルサーマル計画<br>誠意のない説明いつまで<br>不正確だと思われる情報   |
| コメント   | プルサーマル計画は、プルトニウム利用法としてはもともと脇役的存在だった。本来は高速増殖炉「もんじゅ」が主役だったが、1995年にナトリウム事故を起こしたため、97年の閣議了解で代役に抜擢された。  |
| 参考資料   | もんじゅ事故以前の昭和62年の原子力白書に下記のように記述されているように、軽水炉でのプルトニウム利用は当初から計画されていた。主役、脇役ではなく、高速炉での本格的な活用への移行過程である。(もんじゅ事故で移行が遅れたことは事実であるが)白書の記述：当面軽水炉及び新型転換炉において一定規模のプルトニウム利用を進めることにより、将来の高速増殖炉時代に必要なプルトニウム利用の広範な技術体系を確立及び長期的な核燃料サイクルの総合的経済性の向上を図る。<br>昭和62年版原子力白書<br><a href="http://www.aec.go.jp/jicst/NC/about/hakusho/index.htm">http://www.aec.go.jp/jicst/NC/about/hakusho/index.htm</a> |

## 原子力に関する不正確だと思われる情報シート

|             |   |
|-------------|---|
| 新聞・雑誌名      | 愛媛新聞  |
| 掲載日         | 2009年5月31日(日)   |
| タイトル        | 伊方原発プルサーマル、高燃焼度燃料とMOX国内初併用、効率化安全に疑念、変則的運用、少ない実績、制御に不安要素   |
| 不正確だと思われる情報 | 2006年に県主催で開催した討論会で出席した[...]の話「原発では技術の発達が安全余裕を削る方向に働く。。。『科学技術的』な根拠をもとにどんどん削っていくのではないか。」  |
| コメント        | MOX燃料の採用に当たっては、その制御能力を始め詳細な解析評価を国が実施して安全であると確認している。また、住民への説明会も数回実施し、安全性に関する質問へもキチンと回答しており、これらはすべて四国電力のホームページで公開されている。3年前の討論会では6名の有識者が登壇、反対派と推進派は同数、そのうちの[...]の話だけを記載して読者の不安を搔き立てるのは問題である。 |
| 参考資料        | 四国電力ホームページ、プルサーマル<br><a href="http://www.yonden.co.jp/energy/atom/pulthermal/index.html">http://www.yonden.co.jp/energy/atom/pulthermal/index.html</a>                                    |

## 原子力に関する不正確だと思われる情報シート

|             |  |
|-------------|--|
| 新聞・雑誌名      | 新潟日報   |
| 掲載日         | 2009年6月1日(月)   |
| タイトル        | 原発反対グループ、運転停止求め街頭抗議、新潟   |
| 不正確だと思われる情報 | 25日に7号機の主排気塔から微量の放射性物質ヨウ素133が漏れ出したことを挙げ、「起動した途端にトラブルが続いている。放射能が垂れ流れ、不安だ」などと東電を批判。  |
| コメント        | 東電は29日にはこれについての見解を公表し、トラブルではないこと、 $2.0 \times 10^{-8}$ ベクレル/ $\text{cm}^3$ と検出限界付近の極微量で法令で定める放射線作業従事者の作業環境の空気濃度の1,000分の1以下であることを発表している。そのような外れの抗議をこのような記事にするのは、いたずらに読者の不安を搔き立てるだけであり慎むべきである。 |
| 参考資料        | 東電柏崎刈羽原子力発電所ホームページのプレスリリース<br><a href="http://www.tepco.co.jp/nu/kk-np/press_kk/2009/pdf/21052902p.pdf">http://www.tepco.co.jp/nu/kk-np/press_kk/2009/pdf/21052902p.pdf</a>                  |

## 原子力に関する不正確だと思われる情報シート

|                     |   |
|---------------------|---|
| 新聞・雑誌名              | 愛媛新聞  |
| 掲載日                 | 2009年6月1日(月)  |
| 不正確だと思われる情報<br>タイトル | <p>伊方原発フルサーマル、MOX燃料輸送情報統制、行政や電力「守秘義務」繰り返す、脱原発団体、住民に最低限公開を</p> <p>…経路や到着日時は輸送終了まで伏せられる。…<br/>「MOX燃料の発着時はテロリスト側からすれば一番の情報」(文科省原子力安全課)とする国に対し、脱原発を訴える特定非営利活動法人の原子力資料情報室は、「危険性がある以上、最低限の情報は住民に知らせるべきだ。公表したほうが監視の目が増えて安全です。」<br/>原発黎明期の56年に施行された原子力基本法は冒頭で「自主、民主、公開」の3原則をうたう。いまその精神は揮発し、統制だけが強まっている。</p> <p>この記事ではMOX燃料輸送に関して何も公開していないかのごとき印象を受けるが、共同で輸送する3電力会社の連名で、「欧州出発日、概略輸送ルート、日本到着のおよその時期、積出港、輸送船名及び輸送物は、欧州出発日の1日後に公表します。」とプレスリースされている。</p> |
| コメント                | 3電力(九州電力、四国電力、中部電力)合同プレスリース(2009.1.28)<br><a href="http://www.chuden.co.jp/corp/press/publicity/press/ac_press/1198834_1034.html">http://www.chuden.co.jp/corp/press/publicity/press/ac_press/1198834_1034.html</a>   |
| 参考資料                |   |

## 原子力に関する不正確だと思われる情報シート

|                                    |  |
|------------------------------------|--|
| 新聞・雑誌名                             | 佐賀新聞   |
| 掲載日                                | 2009年6月1日(月)   |
| 「私の主張」(読者投書欄)、「故郷にプルサーマル不要」<br>[ ] |  |
| タイトル                               |  |
| 不正確だと思われる情報                        | <p>プルサーマルについて、科学技術的に間違った知識また正しいことを知らない為に、このような不安、心配をしている。そのような投書を掲げる場合は、正しい情報を併記する、もしくは有識者に正しい情報を書いてもらって同時に、もしくは後日でも、掲載するような配慮が、投書者並びに読者のためにも必要である。同様の投書記事は愛媛新聞6月7日[ ]にもある。一方、同じ佐賀新聞6月10日投書欄に「お答えします」として5月26日付け掲載の[ ]の「プルサーマル容認できない」に対して[ ]の「[ ]が正しい情報で回答しており、こういう掲載は大変良い。</p> |
| 参考資料                               |  |

## 原子力に関する不正確だと思われる情報シート

|             |  |
|-------------|--|
| 新聞・雑誌名      | 福島民友   |
| 掲載日         | 2009年6月5日（金）   |
| タイトル        | 安全性に影響、第1原発のトラブル   |
| 不正確だと思われる情報 | 福島第1原発1号機で起動作業中の2月、原子炉圧力調整用タービンバイパス弁の開閉装置の連結部が外れた問題で、経産省原子力安全・保安院は4日、国際評価尺度（INES）でレベル0プラスの「原子力施設の完全性に影響を与える事象」だったと発表した。  |
| コメント        | このトラブルの場合だけINESを持ち出すのではなく、全てのトラブル情報で記載すべきである。ほとんど全てのトラブルはINESの0（ゼロ）にも該当しないものであることが分かれば、一般読者が原子力発電所のほとんどのトラブルは安全性に何ら問題のないトラブルであることが理解できる。ちょうど地震の場合に必ず震度が幾つであったと報道するように。 |
| 参考資料        | 国際原子力事象尺度<br><a href="http://nsdel.tokai-sc.jaea.go.jp/ines/">http://nsdel.tokai-sc.jaea.go.jp/ines/</a>   |

## 原子力に関する不正確だと思われる情報シート

|                     |   |
|---------------------|---|
| 新聞・雑誌名              | 毎日新聞  |
| 掲載日                 | 2009年6月9日(火)  |
| タイトル                | 防護服、汗伝い被ばく、青森・原燃作業員   |
| 不正確だと<br>思われる情<br>報 | <p>・・・左ひざの皮膚表面から基準値（1平方センチ当たり4ベクレル）を超す6ベクレルの放射能量が検出された。</p>   |
| コメント                | <p>放射能量の単位「ベクレル」の意味や大きさは読者には分からないので、解説する必要がある。その中で、人の体内には食物に由来する約7,000ベクレルの放射能を持っていることなど身近なものと比較して解説することにより、この被ばくが人体に全く問題なかつたことも言及すべきである。</p>   |
| 参考資料                | <p>原子力図面集6-7、体内、食物中の自然放射性物質<br/><a href="http://www.fepc.or.jp/library/publication/pamphlet/nuclear/zumenshu/pdf/al106.pdf">http://www.fepc.or.jp/library/publication/pamphlet/nuclear/zumenshu/pdf/al106.pdf</a></p> |

## 原子力に関する不正確だと思われる情報シート

|        |                                    |
|--------|------------------------------------|
| 新聞・雑誌名 | 愛媛新聞                               |
| 掲載日    | 2009年 6月14日(日)                     |
| タイトル   | (投書欄)「脱原発社会をめざしてほしい」<br>[REDACTED] |

不正確だと  
思われる情  
報

① 石油・天然ガス・石炭などはウラン燃料の数倍から数十倍も多く埋蔵さ  
れている。

② 核燃料サイクルの後処理費用は18兆8千億円と報道されるなど、原発費  
用も膨らんでいる。

③ 二酸化炭素を出さないのは発電時のみで、ウラン採鉱や濃縮過程、再処  
理過程で膨大なエネルギーを消費してCO<sub>2</sub>を出す。

④ 熱効率も30%と悪く、エネルギーの7割近くは海水と地球を直接暖める。

⑤ だから、先進国はすでに自然エネルギー開発に国力を傾けている。

コメント

① 確認可採埋蔵量は、石油42年、天然ガス60年、石炭133年であり、全  
合計235年、ウラン100年の約2.3倍。

② 原子力発電の発電単価には再処理費用、再処理施設廃止費用、廃炉費用、  
高レベル廃棄物処分費用など全て含まれている。

③ ウラン採鉱や濃縮過程、再処理過程、発電所建設などのエネルギー消費  
も含めても、kWh当たりの二酸化炭素排出は原子力発電は風力や太陽光  
発電よりも少ない。

④ エネルギー不減の法則により、全てのエネルギーは熱に変わるので、熱  
効率の大小は問題にはならない。原子力発電所100万kW、1基からの熱  
エネルギーは毎秒72万kcalであり、地球が太陽から受けけるエネルギー  
毎秒約30兆kcalに較べ4200万分の1と微々たるものである。

⑤ 電力に占める原子力の割合は仏80%、米国20%、ドイツ27%、英国20%  
など。また、近年スウェーデン、イタリア、英國などは脱原子力政策を  
廃止、ドイツもその方向である。

参考資料

エネ庁発行パンフレット「わたしたちの暮らしへエネルギー」  
[http://www.enecho.meti.go.jp/genshi-az/pamphlet/pdf/kurashi\\_ene.pdf](http://www.enecho.meti.go.jp/genshi-az/pamphlet/pdf/kurashi_ene.pdf)

原子力・エネルギー図面集、第2章地球規模の環境問題  
<http://www.fepc.or.jp/library/publication/pamphlet/nuclear/zumenshu/pdf/al102.pdf>

原子力・エネルギー図面集、第4章原子力発電の現状  
<http://www.fepc.or.jp/library/publication/pamphlet/nuclear/zumenshu/pdf/al104.pdf>

太陽から地球が受けるエネルギー  
<http://jp.sanyo.com/corporate/power/html/energy/04.html>

原子力に関する不正確だと思われる情報シート

|             |  |
|-------------|--|
| 新聞・雑誌名      | 東京新聞   |
| 掲載日         | 2009年6月16日(火)  |
| タイトル        | 本音のコラム、核燃料サイクル、<br>[REDACTED]  |
| 不正確だと思われる情報 | <p>・・・「プルサーマル」は危険性が高いとして自治体から忌避され続け、ついに5年先まで延ばすことになった。</p> <p>・・・再処理工場のガラス溶解炉があるガラス固化セルには、高レベル廃液が大量に漏れ、・・・</p>   |
| コメント        | プルサーマルの16~18基での採用が2010年から約5年延期されたのは、関電高浜でのMOX燃料製造データ改ざん、東電のシュラウド補修データ隠ぺい、中越沖地震などの影響で事業者が自治体に了解申し入れを控えたためであり、危険性を忌避されたためではない。ガラス固化セルに高レベル廃液が“大量に”漏れたという事実はない。 |
| 参考資料        | <p>日本原燃プレスリリース<br/><a href="http://www.jnfl.co.jp/press/pressj.html">http://www.jnfl.co.jp/press/pressj.html</a></p>   |

原子力に関する不正確だと思われる情報シート

|                               |   |
|-------------------------------|---|
| 新聞・雑誌名                        | 愛媛新聞  |
| 掲載日                           | 2009年6月17日  |
| 取材最前線、原子力損害賠償、編集委員 [REDACTED] |   |
| タイトル                          |   |
| 不正確だと<br>思われる情<br>報           | <p>「安全か危険か、経済的か否かという二項対立の議論は重要だが、商業発電は国家の強力な擁護なしに成り立たないことをまず直視すべきだろう。それでも原発を推進すべきかどうか、この視座を前提に考えたい」</p>   |
| コメント                          | <p>長期的には化石燃料枯渇は確実であり代替エネルギーをどうするか、我が国のエネルギー安全保障という国家としての最重要課題における原子力の位置づけという、最も重要な視座が抜けている。</p>   |
| 参考資料                          | <p>エネ庁パンフレット「暮らしとエネルギー」<br/><a href="http://www.enecho.meti.go.jp/genshi-az/pamphlet/pdf/ene_kurashi.pdf">http://www.enecho.meti.go.jp/genshi-az/pamphlet/pdf/ene_kurashi.pdf</a></p> |

原子力に関する不正確だと思われる情報シート

|        |  |
|--------|--|
| 新聞・雑誌名 | 佐賀新聞   |
| 掲載日    | 2009年6月18日   |
| タイトル   | プルサーマルで[ ]講演会、唐津、佐賀で20、21日                                       |
| 記事全文   | <p>不正確だと思われる情報</p>   |
| コメント   | <p>反対派の講演会の開催案内ののみを記事にする場合は、推進側の講演会、説明会などの開催案内も同様に記事にすべきである。</p> |
| 参考資料   |  |

原子力に関する不正確だと思われる情報シート

|             |  |
|-------------|--|
| 新聞・雑誌名      | 日刊県民福井   |
| 掲載日         | 2009年6月20日   |
| コメント        | もんじゅで運転員軽傷   |
| タイトル        |  |
| 記事全文        |  |
| 不正確だと思われる情報 | もんじゅの構内の階段で足を踏み外してアキレス腱に軽傷を負った、という記事である。発表する事業者もマスコミも原子力なら何でも情報公開しなければならないという風潮で、このような類の読者市民に何の為にもならない情報を氾濫させるのはおかしい。情報規制といいうことではなく、原子力情報の発表と報道について何らかの自主的取り決めが双方に求められる。 |
| 参考資料        |  |

## 原子力に関する不正確だと思われる情報シート

|             |  |
|-------------|--|
| 新聞・雑誌名      | 東奥日報   |
| 掲載日         | 2009年6月21日   |
| タイトル        | 社説、プルサーマル計画、うつろに響く「着実推進」   |
| 不正確だと思われる情報 | <p>「国策であるこの核燃料サイクル政策が、高速増殖炉もんじゅの事故で生き詰まる。このため政府は1997年、・・・・プルサーマル計画をサイクルの中核に位置付けすると閣議で決めた。」</p>   |
| コメント        | <p>プルサーマル計画は1972年6月21日国の「原子力開発長期計画」において、プルサーマル実施を明記しており、1995年のもんじゅ事故より前である。</p>  |
| 参考資料        | <p>ウイキペディア「プルサーマル」<br/><a href="http://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%97%E3%83%AB%E3%82%B5%E3%83%BC%E3%83%9E%E3%83%AB">http://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%97%E3%83%AB%E3%82%B5%E3%83%BC%E3%83%9E%E3%83%AB</a></p> |

## 原子力に関する不正確だと思われる情報シート

|             |  |
|-------------|--|
| 新聞・雑誌名      | 佐賀新聞   |
| 掲載日         | 2009年月6日21日(日)   |
| タイトル        | プルサーマルは危険<br>████████が講演 唐津 今日佐賀市でも  |
| 不正確だと思われる情報 | プルサーマルで出る使用済みMOX燃料について「現実に処理できない危険物質で、搬入先の確約のない“中間貯蔵”は永久保管と同義」と説明した。   |
| コメント        | 「処理できない」は間違い。使用済みMOX燃料の再処理は、わが国では東海再処理工場における「ふげん」の燃料の再処理の実績がある。また、フランスでもラ・アーグ再処理工場で再処理した実績がある。   |
| 参考資料        | 九州電力ホームページより、<br><a href="http://www.kyuden.co.jp/nuclear/pluthermal_qa_07.html">http://www.kyuden.co.jp/nuclear/pluthermal_qa_07.html</a> |

## 原子力に関する不正確だと思われる情報シート

|             |   |
|-------------|---|
| 新聞・雑誌名      | 静岡新聞  |
| 掲載日         | 2009年月6日22日(月)  |
| タイトル        | 放射性廃棄物の問題が解決されない限り、原発を新增設すべきでない。<br>ドイツ型の段階的廃止、自然エネルギーへの転換が望ましい。  |
| 不正確だと思われる情報 | ドイツでは再生エネルギーの拡大が計画されているが、需要を満たすのは困難。脱原子力発電では電力が不足するため、脱原子力政策は見直す方針となっていることに留意すべきである。<br>2007年のドイツの発電量は石炭47%、原子力22%、天然ガス10%程度。<br>(再生エネルギー(風力、太陽光など)は設備容量(kW)が増えても稼働率が低いので発電量(kWh)の増加はそれほどでもない。) |
| 参考資料        | 海外電力調査会資料<br><a href="http://www.jepic.or.jp/data/ele/ele_04.html">http://www.jepic.or.jp/data/ele/ele_04.html</a>  |

## 原子力に関する不正確だと思われる情報シート

|             |  |
|-------------|--|
| 新聞・雑誌名      | 新潟日報   |
| 掲載日         | 2009年6月23日(火)  |
| タイトル        | プルサーマルの先送りに納得<br>(64歳主婦の投書)  |
| 不正確だと思われる情報 | <p>①プルトニウム分離とMOXの軽水炉利用という路線のデメリットは、核燃料の直接処分の選択肢に比べ圧倒的であり、(以下略)<br/>②各地の原発でMOX燃料を使うことになると、核兵器の材料になるプルトニウムが動き回ることにもなる。</p>                             |
| コメント        | <p>①プルサーマルにはメリットが多く、「デメリットは圧倒的」は間違い。<br/>②MOX燃料から核兵器用プルトニウムを抽出することは、現実的に不可能。</p> <p>このような、反対派の意見の受け売りをそのまま掲載するのは報道機関として問題。また、このような記事に対しでは反論が必要。</p>  |
| 参考資料        | <p><a href="http://www.enecho.meti.go.jp/genshi-az/pamphlet/pdf/what_pl.pdf">http://www.enecho.meti.go.jp/genshi-az/pamphlet/pdf/what_pl.pdf</a></p> |

## 原子力に関する不正確だと思われる情報シート

|             |  |
|-------------|--|
| 新聞・雑誌名      | 静岡新聞   |
| 掲載日         | 2009年6月25日(木)  |
| タイトル        | 浜岡原発の選択<br>三つの提言 上<br>廃炉・新設・貯蔵   |
| 不正確だと思われる情報 | 国は05年、放射能汚染度が規定より低い放射性廃棄物を一般ごみとして処分できる「クリアランス（すそ切り）制度」を設けた。今後の廃炉ラッシュの到来を想定した便宜的な対応でしかない。   |
| コメント        | クリアランス制度とは、放射性廃棄物として扱う必要がないものを区分する制度。諸外国でも行われており、便宜的な対応ではない。   |
| 参考資料        | クリアランス制度（原子力安全・保安院ホームページより）<br><a href="http://www.nisa.meti.go.jp/7_nuclear/04_kuri/kuri.htm">http://www.nisa.meti.go.jp/7_nuclear/04_kuri/kuri.htm</a><br>外国の事例 原子力百科 ATOMICA<br><a href="http://www.rist.or.jp/atomica/data/dat_detail.php?title&gt;No=11-03-04-05">http://www.rist.or.jp/atomica/data/dat_detail.php?title&gt;No=11-03-04-05</a> |

## 原子力に関する不正確だと思われる情報シート

|             |   |
|-------------|---|
| 新聞・雑誌名      | 静岡新聞  |
| 掲載日         | 2009年6月27日（土）   |
| タイトル        | 浜岡原発の選択<br>三つの提言 下<br>岐路に立つ原子力<br>次代見据え政策示せ   |
| 不正確だと思われる情報 | 原発の耐震性への不安が容易にぬぐい去れない日本では、分散型電源社会の実現こそ理想といえる。   |
| コメント        | エネルギー政策でも原子力が基幹電源と位置付けられている。<br>資源の量、質、経済性、使いやすさなど総合的に考える必要がある。<br>分散型（特に新エネルギー利用）は一定の規模に拡大するとしても、原子力発電が不要な分散型電源社会（分散型電源のみの社会？）は妄想にすぎない。  |
| 参考資料        | エネルギー基本計画（平成19年3月）第3章1（1）エネルギー政策における原子力の位置付け・考え方<br><a href="http://www.enecho.meti.go.jp/topics/kihonkeikaku/keikaku.pdf">http://www.enecho.meti.go.jp/topics/kihonkeikaku/keikaku.pdf</a> |

## 原子力に関する不正確だと思われる情報シート

|             |  |
|-------------|--|
| 新聞・雑誌名      | 愛媛新聞   |
| 掲載日         | 2009年6月27日（土）他   |
| タイトル        | 「ブルサーマルに直し 小5動く<br>「未来のため」署名集め   |
| 不正確だと思われる情報 | <p>本件に関連した記事が、同紙の下記欄にも掲載</p> <p>7月1日 「県議会から」<br/>7月2日 「地軸欄」<br/>7月3日 「投書欄」</p> <p>知り合いの大人に聞いたり、図書館やネットで詳しく調べたりした結果「ブルトニウムはウランの何倍もの放射能を出すもので、地球上で一番毒性の強い物質と知った」と話す。</p> <p>・・・「県議会の大人に、自分たちの気持ちがわかつてももらいたい」と請願書提出を思い立った。</p>  |
| コメント        | <p>ブルトニウムが「地球上で一番毒性が強い」とは確認されていない。まだ知識が十分とはいえない小学生にこのようない方的な知識を植えつけ、このような行動を助長すること、さらにそれを大きな記事で報道する報道機関の姿勢が問題である。</p>  |
| 補足          | <p>同紙の関連記事では、7月1日の「県議会から」では当惑した様子が伺われるが、他の記事では、支援や、結果的には助長する内容である。<br/>反対派が子供を使うようになるとすれば重要な問題。</p>  |
| 参考資料        | <p>ブルトニウムの毒性 Wikipedia<br/><a href="http://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%97%E3%83%AB%E3%83%88%E3%83%8B%E3%82%A6%E3%83%83%A0ipedia.org/wiki/">http://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%97%E3%83%AB%E3%83%88%E3%83%8B%E3%82%A6%E3%83%83%A0ipedia.org/wiki/</a></p> <p>他の毒性との比較 ATOMICA<br/><a href="http://www.rist.or.jp/atomica/data/pict/09/09030105/01.gif">http://www.rist.or.jp/atomica/data/pict/09/09030105/01.gif</a></p> |

## 原子力に関する不正確だと思われる情報シート

|             |  |
|-------------|--|
| 新聞・雑誌名      | 愛媛新聞   |
| 掲載日         | 2009年7月6日(月)   |
| タイトル        | 原発の危険性再認識が必要   |
| 不正確だと思われる情報 | ——青森県六ヶ所村核燃料再処理工場では原発1基の180倍の放射能を海に放出しても稼働しようとしている。当地方一帯は海産物、農産物の主要な食糧庫の一つである。これではがん誘発のおそれもある——  |
| コメント        | 読者投稿欄に掲載された記事である。全体的に反原発の観点からの意見になっているが、上記の記述は明らかに間違っている。<br>180倍の放射能放出は正しいが、人間への影響はこの放射能による人体への直接の被ばくや海産物、農産物の摂取による人体への影響を総合してミリシーベルトの単位で評価される。この評価では原発1基分と同程度であり、これは自然放射線による影響と比較して100分の1程度であり、全く問題にならない。ましてやがん誘発のおそれなど全く考えられない。 |
| 参考資料        | 日本原燃、ホームページ、放射線から<br><a href="http://www.jnfl.co.jp/radiant-env/index.html">http://www.jnfl.co.jp/radiant-env/index.html</a>   |

原子力に関する不正確だと思われる情報シート

|             |   |
|-------------|---|
| 新聞・雑誌名      | 柏崎日報  |
| 掲載日         | 2009年7月10日(金)   |
| タイトル        | 原発運転反対、11日に集会   |
| 不正確だと思われる情報 | 「震災二周年 動かすな！傷だらけの原発」  |
| コメント        | 反原発団体・住民で作る「原発からいのちとふるさとを守る会」が開く県民集会を呼び掛ける記事になっている。「傷だらけの原発」などと間違い誇張したことを声高に叫ぶごく一部の反原発グループの集会を記事として掲載することが問題である。                      |
| 参考資料        | 「原発からいのちとふるさとを守る会」<br><a href="http://d.hatena.ne.jp/aresan/20090318/1237389176">http://d.hatena.ne.jp/aresan/20090318/1237389176</a> |

## 原子力に関する不正確だと思われる情報シート

|        |  |
|--------|--|
| 新聞・雑誌名 | 佐賀新聞   |
| 掲載日    | 2009年7月12日(日)  |
| タイトル   | 「プルサーマル凍結を」九州各県などから950人<br><br>不正確だと思われる情報   |
| コメント   | <p>プルサーマルと「脱原発」を訴えるデモ行進を紹介する記事である。</p> <p>経済性、安全性の両面の問題の指摘は誤っている。</p> <p>経済性については、単純にウラン燃料と比較すればコスト高になっているが、経済性はエネルギーセキュリティ、ウラン資源の有効利用、放射性廃棄物の適切な処理等の効果も合わせて考える必要があり。これらを考えれば経済性がないとの判断は誤りである。</p> <p>安全性については、すでに十分な実績が出ていること、国による安全性評価で問題がないことが確認されていること等から安全性に問題があるとの指摘は誤りである。</p>  |
| 参考資料   | <p>プルサーマルの経済性：資源エネルギー庁パンフレット<br/><a href="http://www.enecho.meti.go.jp/genshi-az/pamphlet/pdf/wakaru_pl.pdf">http://www.enecho.meti.go.jp/genshi-az/pamphlet/pdf/wakaru_pl.pdf</a></p> <p>プルサーマルの安全性：エネ庁発行パンフレット<br/><a href="http://www.enecho.meti.go.jp/genshi-az/pamphlet/pdf/what_pl.pdf">http://www.enecho.meti.go.jp/genshi-az/pamphlet/pdf/what_pl.pdf</a></p> |

原子力に関する不正確だと思われる情報シート

|        |   |
|--------|---|
| 新聞・雑誌名 | 新潟日報  |
| 掲載日    | 2009年7月12日(日)   |
| タイトル   | 原発運転再開、「流れ作業」ではいけない<br><br>不正確だと思われる情報  |
| コメント   | これは柏崎刈羽7号機の運転再開にあたつての社説の一節であるが、全体に冷ややかな目で表面的な批判をしている低級な論説と言える。特に引用した部分は全くおかしな主張である。国の責任が見えないと<br>うが、7号機の運転再開については、東電の評価を踏まえて、原子力安全保安院、原子力安全委員会が妥当としており、国の責任が見えないと<br>はどういうことであろうか。また首長が責任を持つとの主張もおかしい。<br>どうして原子力発電所の運転再開の責任を首長が持つことができるのか?<br>責任はあくまで電力会社である。このような主張が地元の関与を<br>ますます重くし、必要以上の検討のために無駄な時間を浪費し、不必要的<br>経済的損失を招いている。 |
| 参考資料   |   |

## 原子力に関する不正確だと思われる情報シート

|                 |  |
|-----------------|--|
| 新聞・雑誌名          | 中国新聞   |
| 掲載日             | 2009年7月13日(月)  |
| タイトル            | 原子力発電、電力下支え 安全課題   |
| 不正確だと思われる情報コメント | <p>第6パラグラフ</p> <p>[REDACTED]によると、プルサーマルのメリットは、核兵器などに使われる恐れがあるプルトニウムの在庫を減らすことです。一方プルトニウムは毒性が強く、核分裂の制御がウラン燃料に比較して難しいなど安全面の問題があります。</p>   |
| 参考資料            | <p>この記事は「こども新聞」欄に掲載されたものであり、子供に分かりやすく解説した記事となっている。その欄に原子力発電の健全な推進に批判的見解を持つている[REDACTED]の言動を持つくるのは、子供たちの理解をゆがめる恐れがあり、問題である。</p> <p>プルサーマルのメリットはウラン資源の有効利用、エネルギー効率、放射性廃棄物処理のメリット等のほうが優先する事項である。また安全性の問題については、比較の問題であって、どちらでも全く問題ない範囲内のことを取り上げて安全面の問題があるというのは間違いである。</p> <p>原子力政策の現在を検証する 吉岡齊 雑誌 科学 岩波書店 Nov.2007<br/><a href="http://dream4ever.livedoor.biz/archives/51390300.html">http://dream4ever.livedoor.biz/archives/51390300.html</a></p> |

## 原子力に関する不正確だと思われる情報シート

|             |  |
|-------------|--|
| 新聞・雑誌名      | 岩手日報   |
| 掲載日         | 2009年7月17日(金)  |
| タイトル        | 日報論壇、原子力発電の実態、<br>■  |
| 不正確だと思われる情報 | <p>第2，3，4パラグラフ<br/>原子力発電の原料は、ウラン鉱の採掘から始り、精錬、濃縮、転換の過程を経て燃料棒の形成に至るが、それぞれの物の移動は勿論のこと、多くの過程の大部分は石油によって維持される。</p> <p>特に原子炉を含めた原子力発電所の建設に必要な石油は膨大である。</p> <p>従って、原子力発電所得から得られる電力のかなりの部分は投入した石油が回り回ったものと考えてよい。</p> <p>日報論壇に取り上げられた一般の方の論説である。非常に不正確な定性的な議論をしている。この主張と類似な論調は10年前ぐらい前にはよく見られたが、最近ではほとんど姿を消している。</p> <p>各種エネルギー源の有効性評価には、EPR（エネルギー収支比）という指標が用いられている。これはエネルギーのアウトプットとインプットとの比率であり、この値が高いほど有効なエネルギーと言える。これによれば各種発電のEPRは、<br/>原子力：17・9、<br/>石油火力：6・5～8、LNG火力：2・1、地熱：6・8、太陽光：5・2、風力：3・9となっていて、原子力が最も高く、最も有効な発電工エネルギー源であると評価される。さらに原子力発電は今後の技術開発により、EPRを48程度まで向上可能とされている。</p> <p>各電源のエネルギー収支比：原子力エネルギー図面集<br/><a href="http://www.fepc.or.jp/library/publication/pamphlet/nuclear/zumenshu/pdf/all09.pdf">http://www.fepc.or.jp/library/publication/pamphlet/nuclear/zumenshu/pdf/all09.pdf</a></p> |

## 原子力に関する不正確だと思われる情報シート

|             |  |
|-------------|--|
| 新聞・雑誌名      | 産経新聞   |
| 掲載日         | 2009年7月26日   |
| タイトル        | 古典個展、自民党よ、保守本流を叫べ、<br>[REDACTED]   |
| 不正確だと思われる情報 | <p>「・・・次は物。・・日本ひいては世界のエネルギー革命のために、海<br/>力（海流）発電を国家として開発することを宣言せよ。安価で工コで豊<br/>富な海力発電によって電動車を主流とすれば。CO2は大幅に削減、石油<br/>は燃やさず化学工業用資源としてのこしてゆく。原子力発電は不要。無<br/>限の新電力で日本の全産業は強くなる。」</p>                                    |
| コメント        | <p>海流発電は最近研究が始めたところであり、2009年6月25日に工<br/>ンジニアリング振興協会が室内での小型の模型実験を行い原理を確認。<br/>11年度以降に実証試験を行い、海流発電機では世界最大級定格出力2<br/>メガワットの海流発電システムを開発、実用化を目指す、という段階で<br/>あり、規模も経済性も全く未知数の技術であり、「原子力発電は不要」<br/>は暴論である。夢物語としては良いが。</p> |
| 参考資料        | <p>日刊工業新聞記事<br/><a href="http://www.nikkan.co.jp/news/nkx0120090625baag.html">http://www.nikkan.co.jp/news/nkx0120090625baag.html</a></p>  |

原子力に関する不正確だと思われる情報シート

|             |  |
|-------------|--|
| 新聞・雑誌名      | 北國新聞   |
| 掲載日         | 2009年7月26日(日)  |
| タイトル        | 脱原発を訴え、社民党スクール   |
| 不正確だと思われる情報 | <p>[REDACTED]は、「原発を壊す際には、建設時より大きな費用と核のごみが残る」と述べた。</p>  |
| コメント        | 廃止措置にかかる費用は平成16年度原子力部会評価で110万kW級のBWR565億円、PWR544億円と評価され、19年度に再評価しBWR659億円、PWR597億円となつたが、いずれも建設費用約3000億円に比べ少ない。   |
| 参考資料        | 電事連資料、19年2月8日<br><a href="http://www.meti.go.jp/committee/materials/download/files/g70226b03j.pdf">http://www.meti.go.jp/committee/materials/download/files/g70226b03j.pdf</a> |

## 原子力に関する不正確だと思われる情報シート

|  |   |
|--|---|
| 新聞・雑誌名   | 柏崎日報  |
| 掲載日  | 2009年7月30日(木)   |
| 原発   | 原発7号機トラブル、営業運転了承の撤回を申し入れ、県民団体が県へ  |
| タイトル   | 不正確だと思われる情報   |
| 県民の会は、中越沖地震で想定を大きく超える揺れにあった同原発では「施設の再使用などおよそ考えられない」とし、「号機ごとの評価や目視点検を主体とする一部分の検査、評価で運転再開を認めたことに根本的な問題がある」と批判。 | 中越沖地震で想定を超える地震動に遭遇したが安全に停止、冷却し、放射能を外部に放出しなかった、即ち安全性が証明された。地震後約2年にわたり全施設を点検評価し、さらに系統ごとに機能試験を行い健全性を確認してきた。また新たな耐震評価での健全性も確認。これらは原子力安全・保安院の審査、更に県の技術委員会の検討も受けたものである。従って“根本的な問題がある”とは何を以つて“根本的”なのか?具体的でなく、批判は当たらない。 |
| コメント   | 東電原子力情報、柏崎刈羽原子力発電所プレスリース<br><a href="http://www.tepco.co.jp/nu/kk-np/press_kk/2008/2008-j.html">http://www.tepco.co.jp/nu/kk-np/press_kk/2008/2008-j.html</a>   |
| 参考資料   |   |

## 原子力に関する不正確だと思われる情報シート

|             |   |
|-------------|---|
| 新聞・雑誌名      | 新潟日報  |
| 掲載日         | 2009年7月30日(木)   |
| 不正確だと思われる情報 | 柏崎原発7号機、漏えい個所ほぼ特定、営業運転了承撤回、反対派が申し入れ、県に<br>タイトル  |
| コメント        | ・・・メンバーは「燃料に傷があることを知りながら最終試験に進んだ例は過去に一度もないはず。県は、燃料に地震の影響があつたかどうかもあいまいま進めることを許してはならない」と訴えた。<br>[REDACTED]は「(東電の方針は)技術基準には抵触しないと聞いているが、法令うんぬんという問題ではないと思う。県技術委員会にも、住民に不安があることを伝えた上で適切に対処したい」と応じた。   |
| 参考資料        | 原子力発電所は燃料からの微小な漏えいをある程度許容することとしており、今回の漏えいはその範囲内であった。過去にも出力抑制法（燃料漏えいが特定された付近の制御棒を挿入し出力を抑制した状態で運転継続する）で安定運転を継続した例は沢山ある。また、今回は運転再開し1カ月以上たつてからの漏えいなので地震の影響は考えられない。従って“あいまいま進めめる”やり方ではない。<br>東電原子力情報、柏崎刈羽原子力発電所プレスリース<br><a href="http://www.tepco.co.jp/nu/kk-np/press_kk/2009/pdf/21073001p.pdf">http://www.tepco.co.jp/nu/kk-np/press_kk/2009/pdf/21073001p.pdf</a> |

## 原子力に関する不正確だと思われる情報シート

|             |   |
|-------------|---|
| 新聞・雑誌名      | 北海道新聞   |
| 掲載日         | 2009年7月31日(金)   |
| タイトル        | 09衆院選、1票の底流、中、主流派志向、閉塞感、出番失う少數意見  |
| 不正確だと思われる情報 | (最終行)「自民も民主も原発政策に軸を置かず、原発問題を訴える社民や共産はどんどん議席を減らす。反対の声を上げにくく世の中になつた」。<br>[REDACTED]の苦惱は、閉塞感が漂う日本社会の今に重なる。   |
| コメント        | まず、自民党も民主党も、それぞれのマニフェストや政策集に、原子力推進の政策を明確にしている。エネルギー問題や温暖化対策として原子力は重要であり、安全性の高まりから世界は原子力推進の方向である。そういう現実を踏まえれば、“反対の声が上げにくい”ことと“閉塞感が漂う日本社会”とは全く無関係であると言える。<br>民主党マニフェストNO. 46<br>○安全を第一として、国民の理解と信頼を得ながら、原子力利用について着実に取り組む。 |
| 参考資料        | 民主党マニフェスト<br><a href="http://www.dpj.or.jp/special/manifesto2009/pdf/manifesto_2009.pdf">http://www.dpj.or.jp/special/manifesto2009/pdf/manifesto_2009.pdf</a>  |

原子力に関する不正確だと思われる情報シート

|             |   |
|-------------|---|
| 新聞・雑誌名      | 新潟日報  |
| 掲載日         | 2009年7月31日(金)   |
| 不正確だと思われる情報 | 東電、異物原因と推定、柏崎原発燃料漏えい、交換せず運転継続へ、破損許容、疑問の声、専門家<br>タイトル  |
| コメント        | ただ、東電の方針に対しては、県技術委員会委員の[REDACTED]<br>[REDACTED]が「破損燃料の存在を許容して運転が許可されるのは、一般市民の<br>目からはおかしいという意見があるかもしない」と指摘。専門家の中<br>にも疑問の声が出ている。  |
| 参考資料        | 原子力発電所の安全性とは、周辺に放射線被害を及ぼさないことであり、その観点から燃料はある程度の漏えいは許容している。専門家であれば一般市民に分かりやすく説明するのが役目であるはずだ。またこの吉川教授の発言はご自身が疑問を呈しているのではなく、技術的なことを知らない一般市民は疑問に思うだろう、と感想を言っているにすぎない。あたかも専門家も問題にしているかのごとき記事はおかしい。<br>東電原子力情報、柏崎刈羽原子力発電所プレスリリース<br><a href="http://www.tepco.co.jp/nu/kk-np/press_kk/2009/pdf/21073001p.pdf">http://www.tepco.co.jp/nu/kk-np/press_kk/2009/pdf/21073001p.pdf</a> |

原子力に関する不正確だと思われる情報シート

|             |   |
|-------------|---|
| 新聞・雑誌名      | 東奥日報  |
| 掲載日         | 2009年8月1日（土）  |
| タイトル        | 世襲候補「禁止すべき」[REDACTED]が来県、批判   |
| 不正確だと思われる情報 | 本県のエネルギー政策にも言及。「青森は核燃料サイクルの本格的稼働がいつになるか緊迫した状況にあり、非常に危険だ」と語り、社民党は脱原発を掲げる唯一の政党である一事アピールした。                        |
| コメント        | 確かに六ヶ所村の日本原燃再処理施設は高レベル廃棄物のガラス固化施設のトラブルで本格稼働が延び延びになつてゐるが、安全性確保を第一にしており、“非常に危険”とは何を以つて危険と言つているのか、言葉だけが踊つてゐる記事である。 |
| 参考資料        | 日本原燃ホームページ<br><a href="http://www.jnfl.co.jp/">http://www.jnfl.co.jp/</a>                                       |

原子力に関する不正確だと思われる情報シート

|             |   |
|-------------|---|
| 新聞・雑誌名      | 日刊県民福井  |
| 掲載日         | 2009年8月2日(日)  |
| タイトル        | 未知の領域に挑む、プルサーマル10年度にも実施、何一つ利点はない、<br>[REDACTED]   |
| 不正確だと思われる情報 | <p>① プルトニウムは毒性の高い物質で、百万分の1グラムの微粒子を吸い込んだだけで肺がんになる。</p> <p>② 数キロあれば核爆弾が1発作れる。</p> <p>③ 核不拡散のためそこら中に監視カメラを設置する必要がある。</p> <p>④ 資源として活用できる代物ではない。</p> <p>⑤ 最悪の場合、出力が暴走して爆発事故が起こる可能性がある。</p> <p>⑥ ウランとの混合燃料の中で燃え方にむらが生じ、燃料が破損して放射能が漏れだす可能性がある。</p> <p>科学的、技術的に間違ったことを言っており、いちいち反論は省略するが、このようなことを記事にするのは問題である。</p> |
| コメント        | エネテパンフレット、分かるプルサーマルほか   |
| 参考資料        | [REDACTED]  |

## 原子力に関する不正確だと思われる情報シート

|                   |  |
|-------------------|--|
| 新聞・雑誌名            | 愛媛新聞   |
| 掲載日               | 2009年8月2日(日)   |
| 沈黙、<br>[REDACTED] |  |
| タイトル              |  |
| 不正確だと思<br>われる情報   | <p>高速増殖炉原型炉もんじゅを訪ねた。・・・重い課題を次世代に背をわ<br/>せることになるのではないかー。“沈黙する「夢の原子炉」の現場に身を置<br/>いて。思いを強くした。</p>   |
| コメント              | <p>化石燃料は石油をはじめとして枯渇しつつあり、次世代のエネルギー源と<br/>して原子力が柱にならざるを得ないことは明らかである。しかし現在主流<br/>の軽水炉では燃料のウラン確認埋蔵量は100年と短い。そこで、高速増殖<br/>炉が実現すれば2,000～3,000年となるのでその実現には次世代、次々世代<br/>の人類存続がかかっていると言つても過言ではない。「重い課題」ではなく、<br/>「大きな夢」がかかっていると言つても過言ではない。</p> |
| 参考資料              | <p>なるほど！原子力 Atoll、核燃料サイクル<br/><a href="http://www.enecho.meti.go.jp/genshi-az/cycle/peculiar/nuclear.html">http://www.enecho.meti.go.jp/genshi-az/cycle/peculiar/nuclear.html</a></p>  |

原子力に関する不正確だと思われる情報シート

|                     |   |
|---------------------|---|
| 新聞・雑誌名              | 北海道新聞   |
| 掲載日                 | 2009年8月3日(月)  |
| タイトル                | 今日の話題、廃炉時代 [REDACTED]   |
| コメント<br>不正確だと思われる情報 | <p>日本はまもなく本格的な『廃炉時代』を迎える。放射性廃棄物も大量に<br/>出る、原発への贅否は別にして、人類が直面する深刻な課題の一つだ。</p> <p>国内外では60基程度の原子炉施設が廃止され、うち20基近くについて<br/>解体撤去工事が実施されている。このうち、米国のシッピングポート2、<br/>独国のニーダーアイヒバッハ、我が国の動力試験炉（JPD-R）において<br/>は既に解体撤去が終了し、跡地の整地や敷地の解放が行われている。<br/>また我が国初の商業炉東海1号機、ふげんも既に解体中であり、技術的<br/>な開発は継続しなければならないが解決できるものである。解体に伴う<br/>廃棄物はクリアランス制度により0.01mSv/年以下は一般廃棄物もしく<br/>は再利用とすることができます、放射性廃棄物として処分しなければなら<br/>いのは2,3%と僅かである。従って、「深刻な課題」と言うべきではなく、<br/>対処可能なものである。</p> <p>電事連ホームページ、原子力発電所の廃止措置<br/><a href="http://www.fepc.or.jp/present/nuclear/haishi/sochi/index.html">http://www.fepc.or.jp/present/nuclear/haishi/sochi/index.html</a></p> |

## 原子力に関する不正確だと思われる情報シート

|                           |  |
|---------------------------|--|
| 新聞・雑誌名                    | 佐賀新聞   |
| 掲載日                       | 2009年8月4日(火)   |
| プルサーマル中止要望<br>玄海町に34団体・個人 |  |
| タイトル                      |  |
| 不正確だと思われる情報               | <p>1) 「万が一の場合、被害は九州だけではなく西日本にも及ぶ」<br/>2) 「核燃サイクルが破たんしているのは国民周知の事実」</p>   |
| コメント                      | <p>1) MOX燃料の場合もウラン燃料と同様に「止める」「冷やす」「閉じ込める」機能が働き、万一事故が発生してもプルサーマルといつて影響が大きくなることはない。<br/>2) プルサーマルは当初から計画されていたもので、核燃料サイクルに破たんをきたしてはいない。</p>   |
| 参考資料                      | <p>1) 九州電力 HP プルサーマルQA<br/><a href="http://www.kyuden.co.jp/nuclear_pluthermal_qa_05.html">http://www.kyuden.co.jp/nuclear_pluthermal_qa_05.html</a><br/>2) 昭和62年原子力白書など<br/><a href="http://www.aec.go.jp/jucst/NC/about/hakusho/wp1987/index.htm">http://www.aec.go.jp/jucst/NC/about/hakusho/wp1987/index.htm</a></p> |

原子力に関する不正確だと思われる情報シート

|             |   |
|-------------|---|
| 新聞・雑誌名      | 南日本新聞   |
| 掲載日         | 2009年8月5日(水)  |
| タイトル        | 秒読みプルサーマル<br>動き出す使用済み燃料<br>サイクル 高速炉暗礁で一人歩き  |
| 不正確だと思われる情報 | 「高速炉開発が進まなくなり、使用済み燃料の行き詰まりの現状ではプルサーマルしかなく、サイクルの行き詰まりの産物でしかない」   |
| コメント        | 使用済み燃料から回収されるプルトニウムは、利用効率から高速炉での利用が基本であるが、「もんじゅ」のナトリウム漏えい事故以前から連れが予想されており、軽水炉での利用も計画されていた。決して行き詰まりの産物ではない。  |
| 参考資料        | 昭和62年原子力白書(第1章5)など<br><a href="http://www.aec.go.jp/jucst/NC/about/hakusho/wp1987/index.htm">http://www.aec.go.jp/jucst/NC/about/hakusho/wp1987/index.htm</a> |

## 原子力に関する不正確だと思われる情報シート

|             |  |
|-------------|--|
| 新聞・雑誌名      | 愛媛新聞   |
| 掲載日         | 2009年8月6日(木)   |
| 不正確だと思われる情報 | MOX燃料21体186億円<br>はかなり割高になる。  |
| コメント        | 「MOX燃料の電力量」は燃焼度の意味か。文脈から価格が高いことを強調しているようであるが、電力量の8割はちぐはぐ。(報道が正しければ、一体あたりの価格差の方が大きい)<br>なお、原子力発電の場合、電気料金に含まれる燃料費の比率が少なく、電気料金への影響はほとんどないことに留意すべきである。   |
| 参考資料        | 原子力・エネルギー図面集 1キロワットあたりの電源別発電コスト<br><a href="http://www.fepc.or.jp/library/publication/pamphlet/nuclear/zumenshu/index.html">http://www.fepc.or.jp/library/publication/pamphlet/nuclear/zumenshu/index.html</a> |

原子力に関する不正確だと思われる情報シート

|                                      |  |
|--------------------------------------|--|
| 新聞・雑誌名                               | 愛媛新聞   |
| 掲載日                                  | 2009年8月6日(金)   |
| 地軸                                   |  |
| タイトル                                 |  |
| アストロボーアイをリトルボーイに退化させない究極の手段。それは核廃絶だ。 | アストロボーアイをリトルボーイに退化させない究極の手段。それは核廃絶だ。   |
| 不正確だと思われる情報                          | アストロボーアイ（鉄腕アトム）は原子力の平和利用、正義の象徴。エネルギーの将来に夢を抱かせた労働者。広島型原爆「リトルボーイ」に代表される「核兵器」の廃絶は当然であるが、「核の平和利用」まで含む「核廃絶」にアメリカ版と同じ「ボーイ」の名前がつけられたばかりに「鉄腕アトム」を利用するのは、作者手塚治の意に沿わないであろう。鉄腕アトムは平和と正義に立脚した「核の平和利用」の象徴である。 |
|                                      | なし   |
|                                      | 参考資料   |

## 原子力に関する不正確だと思われる情報シート

|             |   |
|-------------|---|
| 新聞・雑誌名      | 東京新聞  |
| 掲載日         | 2009年8月8日(土)  |
| 不正確だと思われる情報 | 関電美浜原発事故から5年、安全管理甘さ今も、作業現場で絶えぬ死傷者   |
| タイトル        |   |
| コメント        | <p>こうしたプラス評価とは裏腹に悲惨な事故が続いている。昨年9月、美浜原発の近くで関電の送電線鉄塔が倒壊。塔の上で作業していた下請け会社社員が転落し、二人が死亡した。</p> <p>…さらに、今年6月には舞鶴市の舞鶴火力発電所で、…・作業員二人が死亡、</p> <p>見出しタイトルを一見すれば、また原子力発電所で死傷者か？と思わせる。大変紛らわしい見出しだある。</p> |
| 参考資料        |   |

原子力に関する不正確だと思われる情報シート

|             |  |
|-------------|--|
| 新聞・雑誌名      | デーリー東北新聞   |
| 掲載日         | 2009年8月8日(土)   |
| タイトル        | 高レベル廃液漏れ即時報告   |
| 不正確だと思われる情報 | <p>・・・保安院の規則を改正、直ちに報告するよう義務付けた。(中略)<br/>事業者の日本原燃は「一滴でも漏れればすぐに報告、公表する。定められた規則通り適切に対応していきたい」としている。</p>                       |
| コメント        | <p>誤りではないが、漏れのような事象は完全なゼロを維持するのは難しいのではないか。時間当たりの漏えい量や、高レベル廃棄物の場合、目に見えるもれはなくとも放射能レベルの上昇など、報告や公表に当たっては何らかの判定基準がいるのではないか。</p> |
| 参考資料        | 上記は私見です。   |

## 原子力に関する不正確だと思われる情報シート

|             |  |
|-------------|--|
| 新聞・雑誌名      | 静岡新聞   |
| 掲載日         | 2009年8月16日(日)  |
| タイトル        | 緊迫の原子炉停止<br>浜岡、激震と初対峙  |
| 不正確だと思われる情報 | <p>「制御棒全挿入です」・・・当直指揮者に一報を入れた。この間、わずか1分。</p> <p>緊急時に求められる「止める」「冷やす」「閉じ込める」一はいざれも正常に機能した。</p>  |
| コメント        | <p>この時点では「止める」は正常に機能したが、「冷やす」はまだスタート段階。このあと冷温停止状態にするための作業が続いたはず。</p> <p>これら一連の作業を冷静に進めた柏崎刈羽原子力発電所の運転員は、グッドプラクティスとして日本機械学会動力エネルギー部門から表彰された。</p>                                     |
| 参考資料        | <p>柏崎刈羽原子力発電所での冷温停止作業：<br/>Wikipedia 柏崎刈羽原子力発電所</p> <p>日本機械学会動力エネルギーの表彰：<br/><a href="http://www.jsme.or.jp/pes/Award/past.html">http://www.jsme.or.jp/pes/Award/past.html</a></p> |

## 原子力に関する不正確だと思われる情報シート

| 新聞・雑誌名      | 河北新報  |
|-------------|---|
| 掲載日         | 2009年8月16日(日)   |
| タイトル        | 持論時論 自然エネルギー利用<br>将来見据えて積極的に  |
| 不正確だと思われる情報 | <p>原子力発電は放射能汚染の危険、冷却水排水による海水温上昇、膨大なコストの再処理、解決策のない最終処分といった問題を抱えながら。</p>  |
| コメント        | <p>放射能汚染や排水による海水温に関する議論としては常時モニタリングされており、その結果は公表されている。これまでに異常が検知されていない。再処理コストも電気料金に反映されており、経済性で原子力発電の優位さを左右するものではない。むしろ「膨大なコスト」を必要とするは太陽光の方。</p> <p>最終処分の処分地の選定はこれから注力してゆく課題。世界的に見ても、原子力ルネッサンスを進める中で、解決してゆく必要があることは論をまたない。</p> <p>(本記事は読者(反対派?)の投稿と思われる。扱いが大きいことを考えると、根拠のない／少ない意見の単独掲載は誤解を広めることになり、好ましくない。)</p> |
| 参考資料        | <p>たとえば「志賀原子力発電所の環境放射線監視結果及びオン排水影響調査結果」(原子力施設のある県ではどこも定期的、継続的に同種の調査が行われ、公表されている。)<br/><a href="http://atom.pref.ishikawa.jp/genan/houkoku/AT179.pdf">http://atom.pref.ishikawa.jp/genan/houkoku/AT179.pdf</a></p>   |

## 原子力に関する不正確だと思われる情報シート

|             |  |
|-------------|--|
| 新聞・雑誌名      | 福井新聞   |
| 掲載日         | 2009年8月16日(日)  |
| 取材余語        | 美浜3号機事故から5年<br>安全の実効性注視  |
| タイトル        | ・・・取材した国會議員と財界人から同じ言葉を聞いた。「国内の原発で人が亡くなる事故は起きていない」。(中略)美浜3号機の事故は、とい聞いかけると「放射能が出ていない」から原子力と関係ない事故だという。(中略)まだこんな感覺の人がいるのかとあせんとした。   |
| 不正確だと思われる情報 | 原子力災害は一般公衆にまで影響を及ぼすことを懸念し、緻密な対応が求められている。<br>コメント<br>産業における安全、特に人命のかかわる災害の重要是言うまでもないが、この災害は原子力の規制を受けない個所の災害であり、労働災害として万全の対応をすべきものである。記者の意見として掲載するのであれば、情緒的にならず、冷静に受け止めてほしい。 |
|             | なし   |
|             | 参考資料   |

## 原子力に関する不正確だと思われる情報シート

|                 |  |
|-----------------|--|
| 新聞・雑誌名          | 日本経済新聞   |
| 掲載日             | 2009年8月20日(木)  |
| タイトル            | 電力、排出枠を初利用<br>東電などCO2 6400トン、16%削減 08年度<br>1000億円規模 コスト増懸念も  |
| 不正確だと思<br>われる情報 | ・・・排出枠は現在1トン1700円程度で取引されており、6400<br>万トンは約1000億円の価値となる。・・・(中略)<br>ただ電力各社が目標達成に必要な分をそのまま枠利用で賄つた場合は、<br>かなりのコスト負担が発生、最終的には電力料金に反映される可能性が<br>ある。   |
| コメント            | 石油火力を太陽光にすると kWh当たり約0.7kg CO2削減。<br>1CO2トン当たりでは、1400kWh必要、最近の太陽光発電の電<br>力買い取り価格48円はCO2削減の見地からだとトン当たり約7万<br>円。上乗せ分24円としても3.5万円で比較にならないくらい高い。<br>排出権取引価格(トン1700円)は電力料金への影響は余剰太陽光を<br>買い取ることにくらべ僅少といえる。電気料金への反映も太陽光を買<br>うより影響が少ないといえる。 |
| 参考資料            | 原子力・エネルギー図面集<br>各種電源別のCO2排出量<br>Wh<br><a href="http://www.fepc.or.jp/library/publication/pamphlet/nuclear/zumenshu/pdf/all02.pdf">http://www.fepc.or.jp/library/publication/pamphlet/nuclear/zumenshu/pdf/all02.pdf</a>              |

## 原子力に関する不正確だと思われる情報シート

|             |   |
|-------------|---|
| 新聞・雑誌名      | 日本経済新聞  |
| 掲載日         | 2009年8月25日(火)   |
| タイトル        | ニュースの理由、欧洲で「太陽電池バブル」崩壊、助成縮小で需要失速  |
| 不正確だと思われる情報 | <p>「例えば日本で国土面積の1%、全国38万ヘクタールの耕作面積に太陽光発電を敷き詰めれば、総発電量約1兆キロワット時の半分をまかなえる」と[REDACTED]。補助金のほかに、自然エネルギー拡大の大構想が必要な局面かもしれない。</p>  |
| コメント        | <p>耕作面積38万ヘクタールとは全耕作面積476万ヘクタールの約8%であり、食料自給率40%なのに8%減少するのは大きなマイナスである。また年間5,000億キロワット時の発電するのに必要な太陽光発電施設は約4.5億キロワット、太陽光発電装置100kWは約6,000万円だから、272兆円。村上教授の構想は如何に非現実的か、少し計算しただけで分かる。なお、同じ電力を原子力で発電するには約7,000億kW、即ち100万kWの原子力発電所を70基、1基約3600億円として25兆円、設置面積も2万ヘクタール、いずれも太陽光の約10分の1以下で済む計算になる。</p>  |
| 参考資料        | <p>エネチパンフレット、日本のエネルギー2009、表3<br/><a href="http://www.enecho.meti.go.jp/topics/energy-in-japan/energy2009.pdf">http://www.enecho.meti.go.jp/topics/energy-in-japan/energy2009.pdf</a></p> <p>日本の耕地面積と食料自給率<br/><a href="http://www.mypress.jp/v2_writers/beep/story/?story_id=1737757">http://www.mypress.jp/v2_writers/beep/story/?story_id=1737757</a></p> |

## 原子力に関する不正確だと思われる情報シート

| 新聞・雑誌名      | 週刊朝日  |
|-------------|---|
| 掲載日         | 2009年8月28日(金)   |
| タイトル        | 東海地震は怖い、やはり浜岡原発は怖かった！   |
| 不正確だと思われる情報 | 129ページ<br>第4パラグラフ最後<br>また「冷温停止」が遅れた点も問題ではないでしょうか<br>第6パラグラフ<br>冷温停止したのは、4号機で地震発生から約13時間後、5号機で約8時間後のことだった  |
| コメント        | 原子力発電所ではプラントの停止後、冷温停止に持っていくことが重要であることは間違いない。冷温停止をするためにまずは重要なことは核反応停止後の原子炉の冷却系を確実に作動させることであり、冷温停止までの時間ではない。これをさも13時間、8時間が問題であるように報道するのは誤りである。浜岡の場合、原子炉の冷却系は確実に稼働しており問題として取り上げることではない。                                      |
| 参考資料        | 地震発生後の浜岡原子力発電所の状況について(続報)(午後1時00分現在)<br><a href="http://www.chudden.co.jp/corp/ publicity/press/ac_press/1214958_1034.html#sankoo1">http://www.chudden.co.jp/corp/ publicity/press/ac_press/1214958_1034.html#sankoo1</a> |

原子力に関する不正確だと思われる情報シート

|                                     |   |
|-------------------------------------|---|
| 新聞・雑誌名                              | 朝日新聞  |
| 掲載日                                 | 2009年9月3日(木)  |
| 原発40年超運転初認可<br>敦賀1号機 新設着工連れ<br>タイトル | <p>「高齢原発時代」監視厳格化を の下段<br/>高圧高温の蒸気を使い、放射線の影響を受ける原発の配管や機器は、長年使う<br/>とひび割れを起こしたり、薄くなったりしやすくなる。</p>   |
| 不正確だ<br>と思われる<br>情報                 | <p>経年劣化事象には様々な対策が講じられている。<br/>40年と限らず、供用期間中検査を定期的に実施、ひび割れや減肉の状況の確<br/>認が行われており、必要に応じ補修や取り換えも行われているので、最初に据<br/>え付けた機器がそのまま60年間使われるわけではない。</p>  |
| 参考資料                                | <p>原子力百科ATOMICA「原子力発電施設の高経化対策と関連研究」<br/><a href="http://www.rist.or.jp/atomica/data/detail.php?Title_No=06-01-01-12">http://www.rist.or.jp/atomica/data/detail.php?Title_No=06-01-01-12</a></p> |

原子力に関する不正確だと思われる情報シート

|             |   |
|-------------|---|
| 新聞・雑誌名      | 福井新聞  |
| 掲載日         | 2009年9月4日（金）  |
| タイトル        | 敦賀1号16年まで運転   |
| 不正確だと思われる情報 | <p>2つ目のバラグラフ<br/>〔〕は「敦賀1号機の停止時期は総合的な経営判断で決定した。今後変更することはない」と述べ、再延期はしないとの認識を示した。</p> <p>4つ目のバラグラフ<br/>原電は・・・今後20年間運転すると仮定してプラント全体の健全性を調べた「高経年化評価」と、評価に基づき追加すべき対策をまとめた「長期保守管理方針」を経済産業省に提出した。</p> |
| コメント        | <p>経営方針としても、今後20年間運転可能のものを、現時点で6年程度に限定することもないよう思う。（敦賀3、4号機建設着工との政治的な関係か？）</p>   |
| 参考資料        | なし  |

原子力に関する不正確だと思われる情報シート

|             |   |
|-------------|---|
| 新聞・雑誌名      | 河北新報  |
| 掲載日         | 2009年9月6日(日)  |
| タイトル        | 石巻・女川で「プルサーマル」講演会<br>住民反応さまざま<br>専門的で難しい／もっと聞きたい<br>トラブルが不安／危険なはずがない  |
| 参考 同紙同日     | 女川原発プルサーマル 必要性や問題点解説  |
| 不正確だと思われる情報 | 全般的に気になる内容  |
| コメント        | 住民の様々な声が載せられているが、講演内容を理解、納得したという声がひとつも載せられていないのが気になる。<br>「ある程度分かったがすっきり納得でない」「必要だとしても、トラブル続きで不安」が最高に理解したレベル。<br>記者が聞いた相手のレベルの問題か、後援会の企画や講師の問題か?<br>ちなみに、同紙の同日の別の記事では、「女川原発プルサーマル、必要性や問題点解説」と題し、推進の立場、必要性を否定する立場の講演があつたことを公平に紹介している。<br>なし |
| 参考資料        |   |

## 原子力に関する不正確だと思われる情報シート

|                 |  |
|-----------------|--|
| 新聞・雑誌名          | 愛媛新聞   |
| 掲載日             | 2009年9月6日(日)   |
| タイトル            | 核再処理問題考へて<br>松山 六ヶ所題材映画会   |
| 不正確だと思<br>われる情報 | 100万分の1グラムのプルトニウムで多くの人が死ぬ危険を知り驚いた。<br>みんな事実を知り、行動しなければならないと思った。  |
| コメント            | 六ヶ所村ラプソディーの映写会。<br>原子力百科ATOMICAによると、プルトニウムの致死量は吸入摄取の場合で<br>0.26mg、経口摄取の場合で1,150mg。(ATOMICA)<br>なお、ICRPの勧告ではPu239の年間摄取量を0.3μg(100万分の0.3g)<br>としている。100万分の1グラムが多くの人が死ぬというのは疑問。(電車連<br>HP)<br>プルトニウムは貴重な資源であり、再処理施設内ではなく全量回収し、燃料に<br>再加工されるので、周辺住民に被害を及ぼすことはない。(間違いだけの原<br>子力・再処理)  |
| 参考資料            | 原子力百科ATOMICA プルトニウムとその高度毒性物質との比較<br><a href="http://www.rist.or.jp/atomica/data/pict/09/09030105/01.gif">http://www.rist.or.jp/atomica/data/pict/09/09030105/01.gif</a><br>電事連ホームページ 広報活動 関連報道に関する当会の見解<br><a href="http://www.fepc.or.jp/about_us/pr/opinion/1191616_1487.html">http://www.fepc.or.jp/about_us/pr/opinion/1191616_1487.html</a><br>原子力・エネルギー図面集 核燃料サイクル<br><a href="http://www.fepc.or.jp/library/publication/pamphlet/nuclear/zumenshu/index.html">http://www.fepc.or.jp/library/publication/pamphlet/nuclear/zumenshu/index.html</a><br>間違いだけの原子力・再処理問題 山名元<br>「ハザード」としてどちらが大きいか (P104) |

## 原子力に関する不正確だと思われる情報シート

|             |   |
|-------------|---|
| 新聞・雑誌名      | 佐賀新聞  |
| 掲載日         | 2009年9月7日(月)  |
| タイトル        | 玄海3、4号機稼動率アップへ<br>定検間隔延長 地元は不安も   |
| 不正確だと思われる情報 | 「間隔延長よりも定検期間を延ばし、3重、4重のチェックをする方が安全ではないか」<br>・・・[REDACTED]は「定検間隔を延ばして安全と言われても住民は納得できないのでは」と制度の周知不徹底を指摘する。  |
| コメント        | この記事を読むと安全面に対する具体的な説明がなく、定検期間延長により、安全性が損なわれるような印象をもつ。<br>「まず制度の周知を」ということであるが、長期間運転したプラントの特性や運転中に採取したデータを踏まえ、必要で十分な保守点検が行われ、従来の検査と遜色ない（むしろ効率よくより以上適切な保守点検が行われる）ことを具体的かつ積極的に説明、記事にしてもらう必要がある。 |
| 参考資料        | NISAホームページ「原子力発電所の安全性の検査」<br><a href="http://www.nisa.meti.go.jp/7_nuclear/14_faq/faq_a03.htm#11">http://www.nisa.meti.go.jp/7_nuclear/14_faq/faq_a03.htm#11</a>                            |

## 原子力に関する不正確だと思われる情報シート

|             |   |
|-------------|---|
| 新聞・雑誌名      | 朝日新聞  |
| 掲載日         | 2009年9月11日(金)   |
| 声           | 原発40年超運転、説明尽くせ  |
| タイトル        | どんな機械も寿命が設定されているのに原発にないらしい。いい加減だと思う。  |
| 不正確だと思われる情報 | <p>保証期間や税制上の償却期間は定められても、あらかじめ寿命は設定されていないのが普通（機械だけではなくほとんどどの設備、住宅も）。自動車だって使わなって廃棄した時が寿命。それまで老朽化したら部品を交換しながら使っている。</p> <p>原子力発電所に限らず、高経年化対策により理論的には寿命はいくらでも延ばせる。原子力発電所の寿命は（他の機械も同様）、技術面や経済面から、維持管理のコストなどを勘案し、経営的に判断して決まるものである。</p> <p>ちなみに、太陽光発電も「期待寿命」はあってもあらかじめ定められた寿命はない。</p> <p>JNESホームページ「高経年化と老朽化」<br/><a href="http://www.jnes.go.jp/tokusuu/keinen/grandmother/01.html">http://www.jnes.go.jp/tokusuu/keinen/grandmother/01.html</a></p> <p>Wikipedia 「太陽光発電 経年劣化と寿命」<br/><a href="http://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%A4%AA%E9%99%BD%E5%85%89%E7%99%BA%E9%9B%BB#.E7.B5.8C.E5.8A.B4.E5.8C.A3.E5.8C.96.E3.81.A8.E5.AF.BF.E5.91.BD">http://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%A4%AA%E9%99%BD%E5%85%89%E7%99%BA%E9%9B%BB#.E7.B5.8C.E5.8A.B4.E5.8C.A3.E5.8C.96.E3.81.A8.E5.AF.BF.E5.91.BD</a></p> |

## 原子力に関する不正確だと思われる情報シート

|             |  |
|-------------|--|
| 新聞・雑誌名      | デーリー東北   |
| 掲載日         | 2009年9月13日(日)  |
| タイトル        | 時評、信頼回復へ高いハードル   |
| 不正確だと思われる情報 | (3段目) 全国の原発から工場に使用済み燃料を搬出できないと、原発に新たな燃料を入れることができず、運転が停止する事態も想定される。かつて、同じように原発がストップする可能性が浮上した時があった。   |
| コメント        | 原子力発電所からの使用済み燃料は毎年約1000トン発生、一方再処理工場の処理能力は年間800トンなので、もともと再処理工場に搬入できない使用済み燃料が発生するために、これらを一時的に貯蔵する施設が必要である。従つて各電力は原子力発電所内の使用済み燃料貯蔵容量を増強してきており、更に発電所外に中間貯蔵施設を建設する計画(むつ市)などもある。即ち、再処理工場の操業が少し遅れたくらいでは原発がストップする可能性はほとんどないと言え、このような対策を既に実行しつつあることに触れない記事は不正確と言える。 |
| 参考資料        | 電事連ホームページ、使用済み燃料中間貯蔵<br><a href="http://www.fepc.or.jp/present/cycle/chozou/index.html">http://www.fepc.or.jp/present/cycle/chozou/index.html</a>  |

## 原子力に関する不正確だと思われる情報シート

|             |  |
|-------------|--|
| 新聞・雑誌名      | 中日新聞   |
| 掲載日         | 2009年9月14日(月)  |
| タイトル        | もんじゅ再開見守る住民、事業効果民主が疑問符   |
| 不正確だと思われる情報 | 海外の高速増殖炉開発では米、英、独、仏が撤退。ロシアとインドが運転中の原子炉を保有している。   |
| コメント        | 仏のフェニックスは研究炉として運転中、ロシア、インドでは運転中とともに新たな高速炉を建設中、さらに中国も建設中である。  |
| 参考資料        | 世界の高速炉の開発<br><a href="http://www.jaea.go.jp/04/turuga/cases/operation/pdf/op-c3-05.pdf">http://www.jaea.go.jp/04/turuga/cases/operation/pdf/op-c3-05.pdf</a> |

## 原子力に関する不正確だと思われる情報シート

| 新聞・雑誌名              | 朝日新聞  |
|---------------------|---|
| 掲載日                 | 2009年9月17日(木)   |
| タイトル                | エコインタビュー、エネルギーの「政権交代」も<br>(ワールドウォッチ研究所(米ワシントン)の<br>[REDACTED] 来日を機にイ<br>ンタビュー記事。)   |
| 不正確だと<br>思われる情<br>報 | 原子力や石炭といった大規模なベースロード電源に頼る電力システムは時<br>代遅れになつてゆき、出力調整がしやすい天然ガスのようなフレキシブルな<br>電源が増えるだろう。<br>思<br>考<br>報  |
| コメント                | 以下の理由から不正確な記事である。<br>1. 天然ガスは石油と同じ生物由来の化石燃料資源であり、既に世界各国で大きな電源となつていい。可採埋蔵量は約60年であり、枯渇の運命にあり、将来のエネルギーとは言えない。<br>2. 原子力もフランスで実績があるように出力調整は可能である。<br>3. 大規模ベースロード電源と需要変動に対応するフレキシブル電源は相対するものではなくミックスすべきものである。 |
| 参考資料                | エネルギーパンフレット「私たちの暮らしとエネルギー」<br><a href="http://www.enecho.meti.go.jp/genshi-a2/pamphlet/pdf/kurashi_ene.pdf">http://www.enecho.meti.go.jp/genshi-a2/pamphlet/pdf/kurashi_ene.pdf</a>                       |

原子力に関する不正確だと思われる情報シート

|             |  |
|-------------|--|
| 新聞・雑誌名      | 朝日新聞   |
| 掲載日         | 2009年9月18日(金)  |
| タイトル        | 科学、さまざま原子力『安全神話』、相次いだ「モノ言う首長」  |
| 不正確だと思われる情報 | <p>国や原子力業者に対し、「モノ言う首長」は他県に飛び火した。<br/>██████████(当時)は。。。中越沖地震を経験した新潟県の泉田知事も。。。██████████は、『立地地域が原子力後の街つくりを真剣に考え始めた』と話す。</p>   |
| コメント        | <p>原子力施設の立地道県は全国で10以上ある。そのうちの僅か3県、しかも福島県は前知事、現在収賄罪で逮捕され容疑者、の発言。ほとんど立地地域は原子力との共存共栄を街づくりの基本に据えている。██████████の██████████の発言は、立地地域の現実を踏まえない、不正確な記事である。</p> <p>共存共栄の代表例として、福井県のエネルギー研究開発拠点化構想<br/><a href="http://www.pref.fukui.jp/doc/dengen/kyoten/kyotennka.html">http://www.pref.fukui.jp/doc/dengen/kyoten/kyotennka.html</a></p> |
| 参考資料        |  |

## 原子力に関する不正確だと思われる情報シート

|             |  |
|-------------|--|
| 新聞・雑誌名      | 佐賀新聞   |
| 掲載日         | 2009年9月19日（土）  |
| 不正確だと思われる情報 | 「犠牲で成り立つ原発不要」<br>■、労働被ばく告発   |
| タイトル        |  |
| コメント        | <p>■は1977年に撮影した敦賀原発の定期検査中の写真を紹介。人海戦術での手作業の光景を示しながら、「こうした下請けの労働者が原発を支えている」と説明。2007年に福島第1原発などで労基法に違反して18歳未満の臨時労働者が定期検査に従事していたことが発覚したことも取り上げ、『過去の問題ではなく、現在進行形の問題であることを認識する必要がある。犠牲の上に成り立つ原発はやめよう』と呼び掛けた。</p> <p>■は30年以上も原発被ばくをテーマにいくつかの写真集などを発刊している。原子力発電所内の被ばく管理は法に基づき厳密に行つており、原子力発電所内の作業で被ばく事故が発生した例はない。不正確で煽動的な写真や言動で一般市民を間違った方向に導こうとする反原発写真家と言える。</p> |
| 参考資料        | <p>■写真集『原発』隠された被曝労働者<br/><a href="http://www.ihope.jp/2009/06/19135413.html">http://www.ihope.jp/2009/06/19135413.html</a></p>   |

## 原子力に関する不正確だと思われる情報シート

|             |   |
|-------------|---|
| 新聞・雑誌名      | 毎日新聞  |
| 掲載日         | 2009年9月29日(火)   |
| 不正確だと思われる情報 | 科学、プルサーマルようやく始動へ<br><br>タイトル  |
| コメント        | <p>・政府はプルトニウムを高速増殖炉で再利用する核燃料サイクルを原子力政策の基本に据えてきた。しかし高速増殖炉の開発は、「もんじゅの」の、事故で頓挫。、97年に軽水炉で消費するプルサーマル推進を決めた。</p> <p>・本来、ウラン燃料を使う軽水炉に、MOX燃料を使うことへの不安もある。<br/>[REDACTED]は、・・・。</p> <p>・プルサーマル計画は1972年6月21日の「原子力開発長期計画」においてプルサーマル実施を明記しており、1995年のもんじゅ事故より前にある。</p> <p>・まず、ウラン燃料を使う軽水炉でも炉内でプルトニウムが生成されエネルギーの約3分の1はプルトニウムの核分裂によるものである。また、[REDACTED]は様々な危険性を指摘しているが、欧米で既に6,000体以上のMOX燃料の安全な使用実績がある。</p>             |
| 参考資料        | <p>ウイキペディア「プルサーマル」<br/><a href="http://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%97%E3%83%AB%E3%82%B5%E3%83%BC%E3%83%9E%E3%83%83%AB">http://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%97%E3%83%AB%E3%82%B5%E3%83%BC%E3%83%9E%E3%83%83%AB</a></p> <p>工庁パンフレット「わかるプルサーマル」<br/><a href="http://www.enecho.meti.go.jp/genshi-az/pamphlet/pdf/wakaru_pl.pdf">http://www.enecho.meti.go.jp/genshi-az/pamphlet/pdf/wakaru_pl.pdf</a></p> |

## 原子力に関する不正確だと思われる情報シート

|                      |  |
|----------------------|--|
| 新聞・雑誌名               | 南日本新聞  |
| 掲載日                  | 2009年9月30日(水)  |
| 社説、環境相意見書、原発推進の前に安全を |  |
| タイトル                 |  |
| 不正確だと思われる情報          | <p>第3パラグラフ<br/>しかし、温室効果ガス対策を主な根拠に安全性への不安が根強い原発を<br/>推進しようというのでは、自然保護や環境保全を担う環境省本来の役割<br/>から明らかに逸脱している。</p>   |
| コメント                 | <p>この社説は環境相が温室効果ガス削減の対策の一つとして原子力の推進の重要性を指摘した意見書を提出したことに対して批判している。<br/>この論者は環境問題の本質を理解していない。環境とエネルギーは切つても切り離せないことを理解しなければならない。温室効果ガス削減の観点のみで論ずるなら、化石資源の使用をやめればよいだけの話だ。しかしそれはエネルギー問題が解決できないので原子力発電の重要性が世界中で認識されただしているのが現状である。<br/>環境相が温室効果ガス削減の有効対策として、エネルギーの観点も踏まえて意見書をだすのは当たり前のことである。このような幼稚な社説を掲載する南日本新聞の論説委員の質が問われる。</p> |
| 参考資料                 |  |

原子力に関する不正確だと思われる情報シート

|             |  |
|-------------|--|
| 新聞・雑誌名      | 福井新聞   |
| 掲載日         | 2009年10月1日(木)  |
| タイトル        | 敦賀1号40年超運転方針、老朽炉いつまで延命<br>県内半数以上が高経年化<br>当初寿命は30～40年、根拠あいまい  |
| 不正確だと思われる情報 | 「当初寿命は30～40年、根拠あいまい」という見出しの最後のパラグラフ<br>これに対し、[REDACTED]のは「年を取ればがたが来る<br>のは人間も機械も同じ。老朽化した原発ではちょっとしたトラブルが重大な<br>事故につながる」と指摘。   |
| コメント        | 原子力発電所は人間と異なり、構成部品や機器類は古くなれば取り換えることができる。事実構成機器、配管、部品等は定期的にまたは必要により交換しており、機能を十分に発揮できるようには更新されている。従って原子力発電所では老朽化という表現は適当ではなく、高経年化という表現を使っている。対象記事の主文のところでは高経年化という言葉を使用しているが、上述の原発反対県民会議の吉村清代表委員の発言引用のところで、老朽化という表現がでてきており、これは間違いである。<br>この発言の老朽化を取りだして、「老朽炉いつまで延命」としているのは間違いである。このようにごく一部の反対派の誤った表現を大きく取り上げ、記事全体の印象をその方向に持つていいるのは問題である。<br>国や事業者が高経年化対策をしつかり推進していることを報道すべきである。 |
| 参考資料        | 高経年化対策の充実に向けた基本的考え方、原子力安全・保安院<br><a href="http://www.meti.go.jp/committee/materials/downloads/g50406ai.pdf">http://www.meti.go.jp/committee/materials/downloads/g50406ai.pdf</a>   |

## 原子力に関する不正確だと思われる情報シート

| 新聞・雑誌名      | 東京新聞   |
|-------------|--|
| 掲載日         | 2009年10月1日(木)  |
| タイトル        | 「最大限活用を」小沢環境相意見書が波紋、温暖化対策に原発推進?<br>『連立の社民党は反対なのに』  |
| 不正確だと思われる情報 | <p>■の■は「電力の需要が増えたのは1980年代まで。将来的に需要が伸びるという前提を見直さないと。今、巨大原發を造つても意味がない」と指摘する。</p> <p>「最も気になる人体の被曝や自然環境の放射能汚染が建設を決める際に考慮されない」と■は批判する。</p> <p>「原発は最も非効率的な発電方法なのに、環境対策のために造れとは」とあきれるのは、■の■だ。「全国で毎日、広島原發百発分の熱が温排水として海に捨てられ、生態系が壊されている。・・・」</p>  |
| コメント        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・電力供給計画は需要の伸びだけでなく、資源の動向、発電価格の動向、環境対策などを総合的に勘案して計画される。需要がそれほど伸びなくとも原子力発電所を建設することは安価な電力を安定供給するという大きな意味がある。</li> <li>・国の建設認可の為の安全審査では、通常運転また万ーの事故の場合の周辺への放射線被ばくを必ず評価している。</li> <li>・原子力発電の熱効率が30%と悪く、エネルギーの7割近くが海水へ放出されることを指摘していると思われる。しかし、生態系が破壊されているという事実は無い。また、エネルギー不滅の法則により、全てのエネルギーは熱に変わるので、熱効率の大小は問題にはならず、火力発電でも同じことである。原子力発電所100万kW、1基からの熱エネルギーは毎秒72万kcalであり、地球が太陽から受けけるエネルギー毎秒約30兆kcalに較べ4200万分の1と微々たるものである。</li> </ul> |
| 参考資料        | <p>原子力安全・保安院ホームページ、原子力発電所の安全審査<br/> <a href="http://www.nisa.meti.go.jp/7_nuclear/01_sekkei/anzen.htm#anzenhyouka">http://www.nisa.meti.go.jp/7_nuclear/01_sekkei/anzen.htm#anzenhyouka</a></p> <p>太陽から地球が受けるエネルギー<br/> <a href="http://jp.sanyo.com/corporate/power/html/energy/04.html">http://jp.sanyo.com/corporate/power/html/energy/04.html</a></p>  |

## 原子力に関する不正確だと思われる情報シート

|             |   |
|-------------|---|
| 新聞・雑誌名      | 東京新聞  |
| 掲載日         | 2009年10月6日(火)   |
| タイトル        | 本音のコラム、政策転換へ  |
| 不正確だと思われる情報 | <p>第2パラグラフ<br/>地球温暖化の解消策として原発依存が強められようとしているが、余計あぶない。遠い将来の核廃棄物の処理まで考えれば、最悪の選択である。一時しのぎで豊かさを満喫して、そのツケを子孫に残すわけにはいかない。</p> <p>第6パラグラフ<br/>原発の新增設や危険な再処理工場「もんじゅ」は、思い切ってやめた方が経済的にも得策だ。</p> <p>コメント</p> <p>原子力発電の健全な推進は、環境対策のみならず化石資源の供給限界に対応する政策として、必要欠くべからざるものであることを認識しなければならない。原発依存をやめればエネルギー対策として重大な支障を生じて、もっと重大なツケを子孫に残すことになる。</p> <p>原発依存脱却に対する対応策としては、省エネ、再生可能エネルギーしかないが、これらは補完エネルギーにはなれても基幹エネルギーにはなりえない。これから基幹エネルギーは原子力発電であることは、世界中で認識されており、我が国でも「ネルギー基本計画」の中で明確にうたわれている。</p> <p>エネルギー基本計画骨子<br/><a href="http://www.meti.go.jp/press/0004573/0/0301007energy1.pdf">http://www.meti.go.jp/press/0004573/0/0301007energy1.pdf</a></p> <p>参考資料</p> |

## 原子力に関する不正確だと思われる情報シート

|              |   |
|--------------|---|
| 新聞・雑誌名       | 愛媛新聞  |
| 掲載日          | 2009年10月8日(木)   |
| 原発停止発想ないのが問題 |   |
| タイトル         | 第1パラグラフ<br>原発は万一大事故となれば、国土を半永久的に破壊し、国民は健康や幸福、財産などすべてを失いかねない。<br>第2パラグラフ<br>原発関連の評価基準は「動かすための基準」で止めるという発想がないのが問題だと思う。  |
| コメント         | 読者の投稿記事である。全体的に一方的に思い込んだ問題記事となっているが、そのうちから特に問題と言える上記2点を取り上げた。<br>第1パラグラフの文章は大げさな表現であり、誤りである。半永久的な破壊などあり得ない。原爆を落とされた広島、長崎も見事に復活している。原子力発電所は原爆とは異なり、放射性物質の有意な放出をさせないように多重安全設計がなされている。この点について、国は厳重な安全審査を行い認可している。また原子力発電施設の製造、建設、運転段階の主要な段階で国による検査が行われ、安全確保の確認がなされており、大きな事故を発生させないようにしている。<br>第2パラグラフの記述も誤りである。<br>確かに設計、製造、建設段階の基準は「動かすための基準」であるといえるが、運転後の基準には、異常を検出した時に速やかに停止する条件を決めた「停止するための基準」が定められている。ある一定以上の地震動に対する原子炉の自動停止機能などはその例である。  |
| 参考資料         | 経産省、中学生向副読本、チャレンジ！原子力ワールド、<br>29ページ、原子力発電所の安全対策と地震対策<br><a href="http://www.enecho.meti.go.jp/genshi-az/pamphlet/pdf/chugaku_seito.pdf">http://www.enecho.meti.go.jp/genshi-az/pamphlet/pdf/chugaku_seito.pdf</a><br>原子力文化振興財団、原子力図面集、原子力発電所の地点選定から廃止措置までの手続き<br><a href="http://www.fepc.or.jp/library/publication/pamphlet/nuclear/zumenshu/pdf/all05.pdf">http://www.fepc.or.jp/library/publication/pamphlet/nuclear/zumenshu/pdf/all05.pdf</a><br>地震時の安全停止の要求規定<br><a href="http://www.jnes.go.jp/content/000011947.pdf">http://www.jnes.go.jp/content/000011947.pdf</a><br>原子炉の緊急停止<br><a href="http://www.atomin.go.jp/website/siryoukan/atom/ka/ki/kinkyu_sukuramu.htm">http://www.atomin.go.jp/website/siryoukan/atom/ka/ki/kinkyu_sukuramu.htm</a> |

原子力に関する不正確だと思われる情報シート

|             |  |
|-------------|--|
| 新聞・雑誌名      | 東京新聞   |
| 掲載日         | 2009年10月12日(月)   |
| 「原子力推進」を再考  |  |
| タイトル        | [REDACTED]   |
| 不正確だと思われる情報 | <p>第3パラグラフ<br/>この恐ろしい過ちを2度と繰り返さないためにも、太陽光発電などのクリーンエネルギーに転換していくべきだと思います。</p>  |
| コメント        | <p>この恐ろしい過ちというのは Chernobyl 原子力発電所の事故を指している。過ちを繰り返さないために原子力発電をやめれば、技術の進歩はない。人類は事故トラブルの経験を生かしてそれを乗り越えた技術を開発してきた。今日の技術文明の時代を築いてきた。現在の原子力発電所は Chernobyl 問題は完全に解決している。</p> <p>太陽光発電などのクリーンエネルギーのみでエネルギー需要を満たせると考えているようであるが、これも誤りである。これらはあくまでも補完エネルギーの役割であり、基幹エネルギーになりうるのは原子力エネルギーであることを理解しなければならない。中学生の為のエネルギー副読本、チャレンジ、原子力ワールドでよく勉強してもらいたいものである。</p> <p>このような幼稚な意見を掲載する東京新聞の見識を問いたい。</p> |
| 参考資料        | <p>中学生のためのエネルギー副読本<br/>チャレンジ、原子力ワールド 文科省、経産省<br/><a href="http://www.enecho.meti.go.jp/genshi-az/pamphlet/pdf/chugaku_seito.pdf">http://www.enecho.meti.go.jp/genshi-az/pamphlet/pdf/chugaku_seito.pdf</a></p>   |

## 原子力に関する不正確だと思われる情報シート

| 新聞・雑誌名 | 掲載日                     | 愛媛新聞   |
|--------|-------------------------|--|
| タイトル   | 相次ぐ長期運転停止<br>安定供給神話に疑問符 | 最後のパラグラフ<br>世界的な視点から「経済効率性、環境保全、そして安定供給。どれをとっても成立せず、すぐにでもやめるべきだ。百歩譲っても、将来的には必ずなくなる過渡的なエネルギーにすぎない」断じた。  |
| コメント   | 不正確だと思われる情報             | <p>[REDACTED] の見解を紹介した記事であるが、全く一方的な根拠のない見解であり、誤りである。</p> <p>経済効率性については、大林氏は現状の大規模発電所の局地的配置は時代に適さなくなっているので、太陽光やバイオマスによる小規模分散型の発電を各地域の需要と質く組み合わせる電力構造への大転換が起こる（スマートグリッドのこと？）予想を根拠にしている。この視点はごく限られた地域のみの限定した見方であり、これ単独では安定した電力供給はできず、主流の大規模発電所や大規模産業用電力需要と連結したネットワークが必要なことは参考資料の図1をみても明らかである。</p> <p>環境保全については、原子力発電所の長期停止により、代替電源として火力発電所の運転を拡大させたことによるCO2発生の拡大を取り上げて原子力発電所の問題とししている。しかしこの指摘は裏を返せば原子力発電所のCO2削減効果が大きいことを言っているにすぎない。</p> <p>安定供給については、志賀原子力発電所のタービンの問題、柏崎刈羽原子力発電所の地震の問題等での長期停止を取り上げ、安定性に欠けるとしている。しかしこれらは一過性のものであり、関係者は再発防止のために全力を投入り、対処している。技術はトラブルから学びこれまで進歩してきている。現時点の問題から結論づけることは誤りである。</p> |
| 参考資料   |                         | 経産省が定義するスマートグリッド<br><a href="http://eetimes.jp/news/3647">http://eetimes.jp/news/3647</a>  |

原子力に関する不正確だと思われる情報シート

|             |   |
|-------------|---|
| 新聞・雑誌名      | 佐賀新聞                                      |
| 掲載日         | 2009年10月16日(金)                            |
| タイトル        | 「安全性無視の暴挙」<br>市民団体、中止求め抗議展開               |
| 不正確だと思われる情報 | 「安全性無視の暴挙」「自主検査問題を放棄して装てんを認めたのは大き<br>な誤り」 |

コメント

玄海3号機のプルサーマルに反対する市民団体の抗議行動を報じたもの  
である。このような反対のための反対活動を写真入りで詳しく報道するの  
は問題である。「安全性無視」「自主検査放棄」などの事実ではなく全く誤つ  
た主張である。国、九州電力とともに安全性の確認、検査等を厳しく実施し  
ている。

参考資料

プルサーマル実施に向けた品質と安全確保  
[http://www.kyuden.co.jp/library/pdf/nuclear/pluthermal/pluthermal\\_0911.pdf](http://www.kyuden.co.jp/library/pdf/nuclear/pluthermal/pluthermal_0911.pdf)

主検査内容

玄海3号機のMOX燃料の国による法令に基づく検査と九州電力による自  
主検査内容  
[http://www.kyuden.co.jp/library/pdf/nuclear/pluthermal/mox\\_0911.pdf](http://www.kyuden.co.jp/library/pdf/nuclear/pluthermal/mox_0911.pdf)

MOX燃料の健全性についてQ&A  
[http://www.kyuden.co.jp/nuclear\\_pluthermal\\_moxqa.html](http://www.kyuden.co.jp/nuclear_pluthermal_moxqa.html)

## 原子力に関する不正確だと思われる情報シート

|             |  |
|-------------|--|
| 新聞・雑誌名      | 東奥日報   |
| 掲載日         | 2009年10月18日(日)   |
| タイトル        | 「活断層の証拠確認」<br>六ヶ所再処理工場直下<br>[REDACTED] 来月、学会で発表  |
| 不正確だと思われる情報 | 六ヶ所再処理工場の直下に活断層が存在すると主張していた[REDACTED]の<br>[REDACTED] が、同断層が繰り返し活動したことを探付<br>ける露頭（地表に現われた地層の断面）を確認した一との研究成果をま<br>とめた。11月8日に同大学で開かれる日本活断層学会で発表する。  |
| コメント        | この報道が大きく扱われているのが問題である。<br>幸い、『同日付の同紙に、当事者である日本原燃が「これまでの調査<br>で工場直下に活断層は認められず、施設の耐震安全性に問題ないことを<br>確認済みだ」と強調した。』と報道されているが、この扱いは前記の扱<br>いに比べ小さく、住民や読者に与えるインパクトが少ないよう思え<br>る。<br>なお、当事者で日本原燃から参考資料に示す見解が表明されて<br>いた。 |
| 参考資料        | <a href="http://www.jnfl.co.jp/event/080528-dislocate.html">http://www.jnfl.co.jp/event/080528-dislocate.html</a><br>「六ヶ所再処理工場の直下に活断層か」などの主張に関する当社の考<br>えについて  |

## 原子力に関する不正確だと思われる情報シート

|             |  |
|-------------|--|
| 新聞・雑誌名      | 産経新聞   |
| 掲載日         | 2009年10月22日(木)   |
| タイトル        | 温室ガス<br>産業界を“排除”<br>政府25%削減チームを内定  |
| 不正確だと思われる情報 | <p>経済に与える影響を試算するタスクフォースの7人のメンバーを固めた。(中略)<br/>人選にあたって日本経団連の関係者が外され、座長候補も環境省が握るなど、「民主党の政策に理解を示す人たちで固められた」との指摘が上っている。</p>                                     |
| コメント        | <p>記事として不正確ではないとしても、このタスクフォースの議論の結果が、国民の理解を得られるとは思いにくい。<br/>実際以降の報道を見ると、20年までに90年比25%減達成の国民負担1世帯当たり38万円増とした前政権の試算間違いの指摘などで、建設的な提言がないことが、このことを序実に示している。</p> |
|             | 参考資料   |

## 原子力に関する不正確だと思われる情報シート

|             |   |
|-------------|---|
| 新聞・雑誌名      | 北海道新聞   |
| 掲載日         | 2009年10月22日(木)  |
| タイトル        | 解体に巨額必要<br>原発の新設反対  |
| 不正確だと思われる情報 | <p>原発がトイレなくマンションと呼ばれて久しい。海外でも原発の解体が始まっているが、その費用は巨額になる。日本でも順次解体されるようになれば、想像もつかない金額になるだろう。</p> <p>(中略)</p> <p>原発の発電コストが安いといつても、解体費用やその後長く続く放射性廃棄物の管理費用を含めれば、とてもなくなるだろう。</p> <p>国や電力会社は将来の展望を含め、國民が納得できるまで、原発の新設をやめるべきだ。</p> |
| コメント        | <p>解体費用、廃棄物の管理費用も含めた総費用が想像もつかなく高いというのは誤解。</p> <p>こういったものをすべて勘案した原子力発電のコストは、他の主要な発電コスト(化石燃料等)と比べ遜色ない。太陽光発電コストに比較すると格段に安価である。</p> <p>この原子力発電のコストには、フロントエンド、バックエンドも含めた原子燃料サイクルのコストも含まれている。</p>                               |
| 参考資料        | 1 kWhあたり電源別発電コスト<br>電気事業分科会コスト等検討小委員会資料(H16年1月)<br>(原子力・エネルギー図面集4-3)  |

## 原子力に関する不正確だと思われる情報シート

|                 |   |
|-----------------|---|
| 新聞・雑誌名          | 愛媛新聞  |
| 掲載日             | 2009年10月24日(土)  |
| コメント            | 社説、伊方原発耐震確認、県は重い責務を見失うな<br>タイトル   |
| 不正確だと思わ<br>れる情報 | (5段目)「伊方原発のプルサーマルは世界的にほとんど実績のない高燃<br>焼度燃料との併用で、安全余裕低下などに懸念が根強い。それだけ慎重<br>な検証を要する。県が自らの重い責務を見失つてはならない。」  |
| コメント            | 四国電力は平成16年11月に経産省にプルサーマルの安全審査(原子力<br>設置変更許可申請)を申請し、17年7月に原子力安全・保安院の審査終<br>了(一次審査)、18年3月には原子力安全委員会の審査終了(2次審査)、<br>同月に経産大臣より許可された。この専門家による2重の安全評価によ<br>り、安全性については十分慎重に検証されることになる。原子力安全の<br>責務は国であって、県は電力会社との紳士協定によって意見を述べる立<br>場であり、「重い責務」を科すべきではない。耐震確認についても同様<br>である。 |
| 参考資料            | 四国電力、プレス発表<br><a href="http://www.yonden.co.jp/press/re0603/j0ypr007.htm">http://www.yonden.co.jp/press/re0603/j0ypr007.htm</a>   |

## 原子力に関する不正確だと思われる情報シート

|        |  |
|--------|--|
| 新聞・雑誌名 | 福井新聞   |
| 掲載日    | 2009年10月27日(火)   |
| タイトル   | <p>「もんじゅ」で市民学習会、福井、燃料輸送の問題指摘</p> <p>不正確だと思われる情報</p>  |
| コメント   | <p>[REDACTED]は、もんじゅ用のMOX燃料について①「一般の軽水炉用燃料に比べて被覆管が薄く衝撃に弱い」と指摘。②他の原発の燃料輸送で過去に輸送車が関係した追突や接触事故が起きており、放射能が漏れるような事故の可能性は否定できないと指摘した。</p> <p>① 燃料被覆管は軽水炉用と高速増殖炉用では材質、使用圧力温度、直徑等が異なり、厚さが薄いからと言って衝撃に弱いとは言えない。またそれが原因でトラブルが起きた実績はない。</p> <p>② 原子燃料の成型加工工場から原子力発電所まで、専用の輸送容器に燃料集合体を収納し、トラックによる陸上輸送では輸送隊列を組み、前後に警備車を配置。輸送容器は耐熱性、密封性に優れていることを求めらる。そのため、法令に基づく試験を実施し、さらに輸送時の衝撃や火災などにも十分耐えられるよう、過酷な条件下での試験もおこなわれ、国の審査を受ける。</p> <p>また、使用済燃料は、放射線量が多く、また発熱をともなうので、通常、発電所内の使用済燃料プールで一定期間冷却したあと、専用の輸送容器に収納し、再処理工場まで海上輸送する。輸送容器は、衝突事故、火災などに対しても放射能による危険がないよう、諸法令で定める厳しい基準に基づいた頑丈な構造となっている。</p> |
| 参考資料   | <p>電事連ホームページ、原子燃料の輸送と安全性の確保</p> <p><a href="http://www.fepc.or.jp/present/cycle/safety/index.html">http://www.fepc.or.jp/present/cycle/safety/index.html</a></p>   |

## 原子力に関する不正確だと思われる情報シート

|             |  |
|-------------|--|
| 新聞・雑誌名      | 佐賀新聞   |
| 掲載日         | 2009年10月31日(木)   |
| タイトル        | MOX安全性に疑問<br>プルサーマル 市民団体が学習会   |
| 不正確だと思われる情報 | <p>「玄海原発にも不良品が入っている可能性はある。安全性を証明する責任は九電にもあり、自主検査のデータを公表すべき」と訴えた。</p>   |
| コメント        | <p>不良品が入っていないかの確認（品質保証）は、九州電力の自主点検の他、保安院がチェックを行つており、データを商業機密で公表できないからといって、不良品が入っていることは繋がらない。</p> <p>また、関西電力の自主点検でMOX燃料16体のうち4体が採用されたといったって、他の電力会社（九州電力）が行つた検査が安全上問題とは言えない。</p>   |
| 参考資料        | <p>佐賀県知事の回答<br/><a href="http://www.saga-chijii.jp/teian/goiken_new/entry.html?eid=1669">http://www.saga-chijii.jp/teian/goiken_new/entry.html?eid=1669</a></p> <p>原子力安全・保安院ニュース<br/><a href="http://www.meti.go.jp/press/20090710004/20090710004.pdf">http://www.meti.go.jp/press/20090710004/20090710004.pdf</a></p> <p>関西電力のプルサーマル計画（品質保証、経緯等）<br/><a href="http://www.kepco.co.jp/wakasa/wakasa_topics/tanpou_s_p6_1.html">http://www.kepco.co.jp/wakasa/wakasa_topics/tanpou_s_p6_1.html</a></p> <p><a href="http://www.kepco.co.jp/plu/1_1.html">http://www.kepco.co.jp/plu/1_1.html</a></p> |

原子力に関する不正確だと思われる情報シート

|                                 |  |
|---------------------------------|--|
| 新聞・雑誌名                          | 東奥日報   |
| 掲載日                             | 2009年11月1日(日)  |
| 「青森の声を政府に」<br>反核燃で [REDACTED]   |  |
| タイトル<br><br>不正確だと<br>思われる情<br>報 | <p>[REDACTED]は「核燃料の廃棄物の問題まで含めれば、莫大（ばくだい）な金がかかることははっきりしている」</p> <p>バックエンド費用は18.8兆円と莫大ではあるが、その費用を含めた原子力とそれ以外の発電コストを比較すると、原子力発電の経済的優位性は損なわれていない。</p> <p>バックエンド事業全般にわたるコスト構造、原子力発電全体の収益性等の分析・評価～コスト等検討小委員会から電気事業分科会への報告～</p> <p>参考資料<br/><a href="http://www.enecho.meti.go.jp/denkihp/bunkakai/cost/cost-houkoku.pdf">http://www.enecho.meti.go.jp/denkihp/bunkakai/cost/cost-houkoku.pdf</a></p> |

原子力に関する不正確だと思われる情報シート

|             |  |
|-------------|--|
| 新聞・雑誌名      | 河北新報   |
| 掲載日         | 2009年11月1日（日）  |
| タイトル        | プルサーマル賛否激突<br>石巻 専門家招き討論会                                  |
| 不正確だと思われる情報 | プルサーマルで有効利用できるウラン資源は10～20%程度でメリットは少ない。                     |
| コメント        | 掲載記事の中で、この後に引用されている[ ]の発言のように、資源が有効利用できることはメリットが大きいと考えられる。 |
| 参考資料        |  |

## 原子力に関する不正確だと思われる情報シート

|             |  |  |
|-------------|--|--|
| 新聞・雑誌名      | 朝日新聞   | 朝日新聞   |
| 掲載日         | 2009年11月5日(木)  | 2009年11月5日(木)  |
| 不正確だと思われる情報 | 10年遅れの船出、前途困難、プルサーマルきょう始動、節約効果低く高コスト、  | 10年遅れの船出、前途困難、プルサーマルきょう始動、節約効果低く高コスト、  |
| タイトル        | ① (4段目) 「・・・高速増殖炉なら有効利用出来るウラン資源は数十倍になる。だが、・・・実用化は2050年に延期された。そこで、つなぎ役のプルサーマルが97年に主役に格上げされた。」<br>② (4段目) 「そのうえコストも・・・直接捨てるより1割程度高くなる。電気料金にすると1世帯当たり年間約600~840円」の負担になる。  | ① (4段目) 「・・・高速増殖炉なら有効利用出来るウラン資源は数十倍になる。だが、・・・実用化は2050年に延期された。そこで、つなぎ役のプルサーマルが97年に主役に格上げされた。」<br>② (4段目) 「そのうえコストも・・・直接捨てるより1割程度高くなる。電気料金にすると1世帯当たり年間約600~840円」の負担になる。  |
| コメント        | ③ (6段目) 「民主・社民、政策に食い違い」<br>① プルサーマル計画は1972年6月21日国の「原子力開発長期計画」においてプルサーマル実施を明記しており、1995年のもんじゅ事故により前である。  | ③ (6段目) 「民主・社民、政策に食い違い」<br>① プルサーマル計画は1972年6月21日国の「原子力開発長期計画」においてプルサーマル実施を明記しており、1995年のもんじゅ事故により前である。  |
|             | ② 原子力委員会で2004年から約1年かけて核燃料サイクルについて検討、経済性評価の結果は「発電コスト+政策変更に伴う費用」で、全量再処理の場合には5.2円/kWh、全量直接処分は5.4~6.2円/kWhとなり、直接捨てるより5~20%安くなる。また、原子力発電は発電コストに占める燃料費の割合が小さいこと、プルサーマルを行う原子炉が限られていること、炉心に入れるMOX燃料の割合が小さいことから、発電コストに与える影響はわずかで、1%程度である。もともと原子力発電は発電コストに占める燃料費の割合が小さく、プルサーマルを考慮しても、他の電源コストと比べて決して遜色ない。   | ② 原子力委員会で2004年から約1年かけて核燃料サイクルについて検討、経済性評価の結果は「発電コスト+政策変更に伴う費用」で、全量再処理の場合には5.2円/kWh、全量直接処分は5.4~6.2円/kWhとなり、直接捨てるより5~20%安くなる。また、原子力発電は発電コストに占める燃料費の割合が小さいこと、プルサーマルを行う原子炉が限られていること、炉心に入れるMOX燃料の割合が小さいことから、発電コストに与える影響はわずかで、1%程度である。もともと原子力発電は発電コストに占める燃料費の割合が小さく、プルサーマルを考慮しても、他の電源コストと比べて決して遜色ない。   |
|             | ③ 民主党と社民党は元々政党としての原子力政策に大きな違いがある。連立内閣に入ってからも社民党は反原発の旗を降ろしていないが、連立政権の統一的政策としては原子力推進、核燃料サイクル推進である。ことさら政党政策の違いを書き立てるのは筋違いである。   | ③ 民主党と社民党は元々政党としての原子力政策に大きな違いがある。連立内閣に入ってからも社民党は反原発の旗を降ろしていないが、連立政権の統一的政策としては原子力推進、核燃料サイクル推進である。ことさら政党政策の違いを書き立てるのは筋違いである。   |
| 参考資料        | ウイキペディア「プルサーマル」<br><a href="http://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%97%E3%83%AB%E3%83%BC%E3%83%9E%E3%83%AB">http://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%97%E3%83%AB%E3%83%BC%E3%83%9E%E3%83%AB</a><br>内閣府原子力政策担当室資料、核燃料サイクル政策に対する国の方針<br>及び原子力委員会の活動内容について」<br><a href="http://www.pref.fukushima.jp/chiki-shin/energy/kentou/kentou_kj02/090831ca001.pdf">http://www.pref.fukushima.jp/chiki-shin/energy/kentou/kentou_kj02/090831ca001.pdf</a><br>四国電力ホームページ、プルサーマル<br><a href="http://www.yonden.co.jp/energy/atom/pulthermal/page_03i.html">http://www.yonden.co.jp/energy/atom/pulthermal/page_03i.html</a> | ウイキペディア「プルサーマル」<br><a href="http://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%97%E3%83%AB%E3%83%BC%E3%83%9E%E3%83%AB">http://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%97%E3%83%AB%E3%83%BC%E3%83%9E%E3%83%AB</a><br>内閣府原子力政策担当室資料、核燃料サイクル政策に対する国の方針<br>及び原子力委員会の活動内容について」<br><a href="http://www.pref.fukushima.jp/chiki-shin/energy/kentou/kentou_kj02/090831ca001.pdf">http://www.pref.fukushima.jp/chiki-shin/energy/kentou/kentou_kj02/090831ca001.pdf</a><br>四国電力ホームページ、プルサーマル<br><a href="http://www.yonden.co.jp/energy/atom/pulthermal/page_03i.html">http://www.yonden.co.jp/energy/atom/pulthermal/page_03i.html</a> |

## 原子力に関する不正確だと思われる情報シート

|             |  |
|-------------|--|
| 新聞・雑誌名      | 新聞   |
| 掲載日         | 2009年11月5日(木)  |
| タイトル        | 「なぜ強行」市民団体反発<br>玄海原発3号機<br>プルサーマルきょう開始<br>漁業者も中止要請   |
| 不正確だと思われる情報 | 「問題点が積み残されている。なぜ強行するのか」と、憤りと反発を強めた。<br><br>特に、MOX燃料の安全性に対する懸念が解決されていないとして、(以下省略)   |
| コメント        | 九電が「商業機密」として、MOX燃料の自主検査データを開示しないことなどを批判し、「問題が解決されないまま、プルトニウムを使った電気が供給されることになる」と無念さをのぞかせた。<br><br>自主検査データが開示されなかつたといって、問題とは言えない。MOX燃料の安全性については、九州電力の自主点検の他、保安院がチェックを行っている。  |
| 参考資料        | 佐賀県知事の回答<br><a href="http://www.saga-chiji.jp/teian/goiken_new/entry.html?eid=1669">http://www.saga-chiji.jp/teian/goiken_new/entry.html?eid=1669</a><br>原子力安全・保安院ニュース<br><a href="http://www.meti.go.jp/press/20090710004/20090710004.pdf">http://www.meti.go.jp/press/20090710004/20090710004.pdf</a><br>関西電力のプルサーマル計画（品質保証、経緯等）<br><a href="http://www.kepco.co.jp/wakasa/wakasa_topics/tanpou_s_p6_1.html">http://www.kepco.co.jp/wakasa/wakasa_topics/tanpou_s_p6_1.html</a><br><a href="http://www.kepco.co.jp/plu/1_1.html">http://www.kepco.co.jp/plu/1_1.html</a> |

## 原子力に関する不正確だと思われる情報シート

|             |   |
|-------------|---|
| 新聞・雑誌名      | 東京新聞  |
| 掲載日         | 2009年11月5日(木) 夕刊  |
| タイトル        | 住民「不安受け止めて」<br>プルサーマル 安全性疑問で抗議  |
| 不正確だと思われる情報 | 高濃度のプルトニウムを使用することへの不安が消えないまま、(以下省略)   |
| コメント        | 世界でプルサーマルは20年以上の実績があり、さらに日本においても試験が行われ、その兼先生が確認されている。<br>制御棒の効きが悪くなる、融点が低くなるなどの問題点が指摘されていますが、これも安全設計上、十分な余裕があり問題はない。  |
| 参考資料        | パンフレット「わかるプルサーマル」等<br><a href="http://www.enecho.meti.go.jp/genshi-az/pamphlet/pdf/wakaru_pl.pdf">http://www.enecho.meti.go.jp/genshi-az/pamphlet/pdf/wakaru_pl.pdf</a> |

## 原子力に関する不正確だと思われる情報シート

|                 |   |
|-----------------|---|
| 新聞・雑誌名          | 西日本新聞   |
| 掲載日             | 2009年11月5日(木) 夕刊  |
| タイトル            | プルサーマル始動<br>国と業界「第一步」<br>安全性には不安なお<br>「なぜ急ぐ」反対署名46万人  |
| 不正確だと思<br>われる情報 | 高濃度のプルトニウムを一般の原子炉で燃やす安全性の保証や、(途中省略) 積み残した課題が多すぎると<br>世界でプルサーマルは20年以上の実績があり、さらに日本においても試験が行われ、その兼先生が確認されている。<br>制御棒の効きが悪くなる、融点が低くなるなどの問題点が指摘されていますが、これも安全設計上、十分な余裕があり問題はない。 |
| コメント            | パンフレット「わかるプルサーマル」等<br><a href="http://www.enecho.meti.go.jp/genshi-az/pamphlet/pdf/wakaru_pl.pdf">http://www.enecho.meti.go.jp/genshi-az/pamphlet/pdf/wakaru_pl.pdf</a>   |
| 参考資料            |   |

原子力に関する不正確だと思われる情報シート

|             |   |
|-------------|---|
| 新聞・雑誌名      | 新潟日報  |
| 掲載日         | 2009年11月5日(木) 夕刊  |
| タイトル        | 計画再開に警戒強める<br>柏崎原発反対派   |
| 不正確だと思われる情報 | 九州電力が強行突破したことに怒りを感じる  |
| コメント        | 今回のプルサーマル始動は、地元への了解、国への申請等、その実施に向け、九州電力が着実に進めてきた結果であり、強行突破とはいえない。 |
| 参考資料        |   |

## 原子力に関する不正確だと思われる情報シート

|             |  |
|-------------|--|
| 新聞・雑誌名      | 愛媛新聞   |
| 掲載日         | 2009年11月6日（金）  |
| タイトル        | 玄海原発フルサーマル始動<br>「伊方で強行許すな」<br>市民団体 燃料品質・耐震に不安  |
| 不正確だと思われる情報 | 燃料の品質問題がある中、根拠のない『安全確認』でフルサーマルが強行されたことに怒りを覚える。   |
| コメント        | 確かに、関西電力の自主点検で採用されなかつたペレットがあつたのは事実だが、これは自主点検が徹底されていることによるものとも考えられ、関西電力が採用しなかつた事実を取り上げ、玄海で利用する燃料に品質問題があるとはいえない。<br>また、九州電力の自主点検の他、保安院もチェックを行つていること、自主検査データが開示されなかつたといって、「根拠のない」とはいえない。  |
| 参考資料        | 佐賀県知事の回答<br><a href="http://www.saga-chiji.jp/teian/goiken_new/entry.html?eid=1669">http://www.saga-chiji.jp/teian/goiken_new/entry.html?eid=1669</a><br>原子力安全・保安院ニュース<br><a href="http://www.meti.go.jp/press/20090710004/20090710004.pdf">http://www.meti.go.jp/press/20090710004/20090710004.pdf</a><br>関西電力のフルサーマル計画（品質保証、経緯等）<br><a href="http://www.kepco.co.jp/wakasa/topics/tanpou_s_p6_1.html">http://www.kepco.co.jp/wakasa/topics/tanpou_s_p6_1.html</a><br><a href="http://www.kepco.co.jp/plu/11.html">http://www.kepco.co.jp/plu/11.html</a> |

原子力に関する不正確だと思われる情報シート

|                     |   |
|---------------------|---|
| 新聞・雑誌名              | 朝日新聞  |
| 掲載日                 | 2009年11月7日(土)   |
| <投書欄>               | 「原発推進」の環境政策は疑問  |
| タイトル                |   |
| 不正確だと<br>思われる情<br>報 | <p>原発はウラン採掘にはじまり、工場建設から廃棄物の管理まで、多くの過程でCO<sub>2</sub>を発生させるうえ、温排水も出します。</p>  |
| コメント                | <p>確かに、設備・運用の際に、二酸化炭素を排出するが、その量は圧倒的に少ない。</p>  |
| 参考資料                | <p>原子力・エネルギー図面集<br/>第2章 「地球規模の環境問題」 各種電源別のCO<sub>2</sub>排出量<br/><a href="http://www.fepc.or.jp/library/publication/pamphlet/nuclear/zumenshu/index.html">http://www.fepc.or.jp/library/publication/pamphlet/nuclear/zumenshu/index.html</a></p> |

## 原子力に関する不正確だと思われる情報シート

|                     |   |
|---------------------|---|
| 新聞・雑誌名              | 中国新聞  |
| 掲載日                 | 2009年11月8日(日)   |
| タイトル                | プルサーマル始動<br>安全優先し情報公開を  |
| 不正確だと<br>思われる情<br>報 | 原子力委員会の試算によると、プルサーマルで節約できるウランは1～2割程度にすぎない。<br>(途中省略)<br>放射性廃棄物の問題を含め、核燃料サイクルにかかる費用、効果を検証する<br>ことが欠かせない。原発に偏るのではなくて、太陽光や風力など自然エネルギー<br>の技術革新を促し、安全な電力供給システムを構築することが求められ<br>ている。  |
| コメント                | ウランが1～2割も節約できることが大きい。<br>核燃料サイクルにかかる費用は、もうすでに試算できる範囲で試算されてお<br>り、そのコストは他の電力に比べても違いはほとんどない。<br>新エネルギーの技術革新を促すことは重要だが、当面は補完的なエネルギー<br>として位置づけられている。   |
| 参考資料                | 総合資源エネルギー調査会コスト等検討小委員会報告書<br>バックエンド事業全般にわたるコスト構造、原子力発電全体の収益性等の分<br>析・評価～コスト等検討小委員会から電気事業分科会への報告～<br><a href="http://www.enecho.meti.go.jp/denkihp/bunkakai/cost/cost-houkoku.pdf">http://www.enecho.meti.go.jp/denkihp/bunkakai/cost/cost-houkoku.pdf</a><br>エネルギー基本計画<br><a href="http://www.enecho.meti.go.jp/topics/kihonkeikaku/keikaku.pdf">http://www.enecho.meti.go.jp/topics/kihonkeikaku/keikaku.pdf</a> |